LS-2020D
LS-4020DN

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

LS-2020D/LS-4020DN をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

目次

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープモード」に移行する省エネ制御機能を備えています。

スリープモード

最後に使用してから約 30 分を経過すると、自動的に「スリープモード」に移行します。なおスリープモードへの移行時間は、1 分から 240 分の間で変更可能です。詳しくは、使用説明書 応用編を参照してください。

自動両面機能について

本製品は、標準で用紙の両面に印刷できる機能を備えています。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙に両面印刷することで、紙の使用量を軽減できます。詳しくは、使用説明書 応用編を参照してください。

再生紙

本製品は、環境への負荷の少ない再生紙を使用できます。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置時に、火傷などの事故のないようご注意ください。

レーザー光に関する警告(本体内部)

DANGER ・CLASS 3B LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION ・CLASE 3B RAYONNEMENT LASER EN CAS D'OUVERTURE.
EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT ・KLASSE 3B LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET.
NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ATTENZIONE ・CLASSE 3B RADIAZIONE LASER IN CASO DI APERTURA.
EVITARE L'ESPOSIZIONE AL FASCIO.
PRECAUCION ・CLASSE 3B RADIACIONE LASER CUANDO SE ABRE.
EVITAR EXPONERSE AL RAYO.
VARO! ・AVATTAESSA OLET ALTTIINA LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE.
ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
警告 ・该产品为3B类激光产品，打开盖子后会有激光辐射，
请避免光束照射。
警告 ・該產品爲3B類激光產品，打開蓋子後會有激光輻射，
請避免光束照射。
위험 ・CLASS 3B 가시 레이저광선을 직접 보지마십시오.
警告 ・ここを開くとクラス3Bレーザー光がでます。
ビームを直接見たり、触れないでください。

CAUTION HOT SURFACE ACHTUNG HEISSE OBERFLÄCHE ATTENTION TEMPÉRATURE ÉLEVÉE
ATTENCION EXTERIOR CALIENTE ATTENZIONE SUPERFÍCIE CHE SCOTIA
고온주의 高温注意

高温注意

この部分は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。

LS-2020D
AC100V 50/60Hz 9.2A
注意 CAUTION
修理は、すべてサービス担当者におまかせください。
機械の補修の前に、必ず電源コードを抜いてください。
外装カバーの固定されている部分は、外さないでください。
Refer all servicing in the compartment to qualified service personnel.
Disconnect main power cord before servicing.
Do not remove covering panel.
京セラミタ株式会社
DESIGNED IN JAPAN / ASSEMBLED IN CHINA >ABS<

LS-4020DN
AC100V 50/60Hz 9.2A
注意 CAUTION
修理は、すべてサービス担当者におまかせください。
機械の補修の前に、必ず電源コードを抜いてください。
外装カバーの固定されている部分は、外さないでください。
Refer all servicing in the compartment to qualified service personnel.
Disconnect main power cord before servicing.
Do not remove covering panel.
京セラミタ株式会社
DESIGNED IN JAPAN / ASSEMBLED IN CHINA >ABS<

LS-2020D　LS-4020DN

定格ラベル

一般的な注意と定格の値を表示しています。

お願い：これらのラベルははがさないようにしてください。

機械を設置する時のご注意

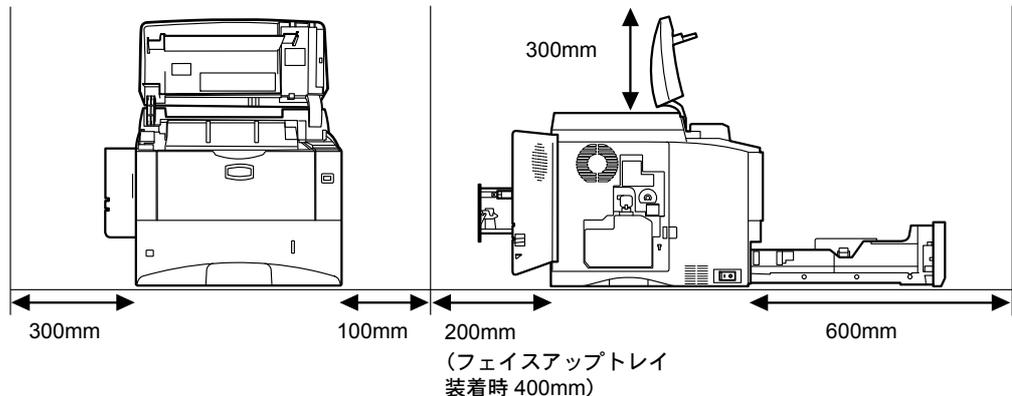
設置環境について

注意

本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械背面には通気口があり、壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。

その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23 ℃、湿度 60 %RH が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

設置電源・アースについて

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。

取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

内部の点検・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へ依頼してください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）

本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源を切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品内部の清掃については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

印刷中には次のことをしないでください。

- カバー類を開ける。
- 電源を切る。
- 電源コードを抜く。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

本書に記載されていないことは行わないでください。

消耗品の取り扱いについて

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

ご注意

本機を使用した結果の影響については、本書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

JIS C 61000-3-2 適合品。

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
  KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- PC-PR201/65A は日本電気株式会社の製品です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- VP-1000 はセイコーエプソン株式会社の製品です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- IBM5577 は、日本アイ・ビー・エム株式会社の製品です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- NetWare は、Novell 社の登録商標です。
- Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows Server、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の商標です。
- AppleTalk および Bonjour は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernet は、ゼロックス社の登録商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornado™ を用いて開発されました。
- その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には TM および ® は明記していません。

IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation（以下 IBM といいます）が所有権を持つ一またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、1）この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、 2）「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、3)「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状の状態で提供されます。

この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

１）本使用権に関する、いかなる形式のいかなる申し立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、a) お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、b) 当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の予見の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。この使用契約に基づく請求権は、請求のいかんにかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場合には、取得した国の法律が適用されます。

フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク® の商標です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
8. 当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
9. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
10. いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
11. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
12. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
13. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）（3）（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 （c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
14. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

GPL

本製品のファームウェアは、一部に GPL (www.fsf.org/copyleft/gpl.html) が適用されたコードを使用しています。GPL が適用されたコードの入手方法については、“http://www.kyoceramita.com/gpl/” にアクセスしてください。

OpenSSL ライセンス

以下は英語の原文です。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナル SSLeay ライセンス

以下は英語の原文です。

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

本機の特長

本機は次の特長を備えています。

概要

高速印刷

LS-2020D は A4 サイズで 1 分間に 35 枚、LS-4020DN は A4 サイズで 1 分間に 45 枚の印刷が可能です（実際の印刷時間は、印刷の内容によって変わります）。

多彩な用紙種類に印刷可能

普通紙はもちろん、OHPフィルムやラベル用紙、その他の特殊用紙にも印刷できます。

オートスリープ

一定の時間内に操作やデータの受信が行われなかった場合、消費電力を抑えるオートスリープを搭載しています。

ハードウェア

ハードウェア拡張スロット

拡張スロットを装備し、ネットワークインタフェースカードをプリンタに追加できます（LS-2020D 対応）。

USB（Universal Serial Bus）インタフェースを装備

Hi-Speed USB に準拠した USB インタフェースを装備しています。480 Mbps の最大通信速度で、高速データ転送を行います。

ハードディスクユニット

ハードディスクをプリンタに追加できます。ハードディスク内のオプションフォント、マクロ、フォームなどを利用できます。

メモリカード（CF カード）スロット

CF カードをプリンタに装着できます。CF カード内のオプションフォント、マクロ、フォームなどを利用できます。

大容量給紙カセット

給紙カセットには約 500 枚の用紙を収納できます。また手差しトレイには約 100 枚の用紙を収納できます。

ソフトウェア

Job Box 機能

Job Box は、リテンション機能を実現します。

用紙の自動選択（メディアタイプセレクション）機能

印刷する用紙の種類（普通紙、OHP フィルム、ラベル用紙など）を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことで、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷できます。

プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォント、図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現します。

KPDL3（Kyocera Printer Description Language3）

Adobe PostScript Level 3 と互換の京セラのページ記述言語です。Adobe 社の PostScript フォントと互換性がある和文 2 フォントと、欧文 101 フォントを搭載しています。オプションのアップグレードキット（UG-17）を装着することによって、KPDL3 が使用できるようになります。

PDF ダイレクトプリント機能（KM-NET for Direct Printing）

Adobe Acrobat/Adobe Reader などのアプリケーションを起動しなくても、PDF（Portable Document Format）ファイルを直接印刷できます。

部門管理機能

本機には、部門管理機能が搭載されています。この機能は、部門ごとの印刷ページ数を記録したり、印刷できるページ数を部門ごとにプリンタに設定できる機能で、操作パネルから行えます。詳しくは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

ネットワーク機能

ネットワークインタフェース

TCP/IP、NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

SNMP（Simple Network Management Protocol）

本機は SNMP と互換性があり、ホスト PC との各種情報のやり取りが可能です。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルの部位名称を説明しています。

2　用紙の補給

給紙カセットおよび手差しトレイへの用紙の補給手順を説明しています。

3　使用前の準備

ネットワークで使用する場合に必要な設定、ドライバのインストールについて説明しています。

4　日常のメンテナンス

用紙の補給、トナーコンテナの交換方法、本機の清掃について説明しています。

5　困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本機のオプション品、仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。

使用説明書（本書）

本機の用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

トナーコンテナの交換、お手入れ、印刷中に表示されるエラーメッセージと紙づまりへの対処のしかたなどを説明しています。

使用説明書 応用編（CD-ROM 収録）

プリンタ機能の詳細、各種の初期設定について説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

プリスクライブコマンド・テクニカルリファレンス（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに体系的に説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

KM-NET for Direct Printing 操作手順書（CD-ROM 収録）

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷する方法について説明しています。

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書（CD-ROM 収録）

Web ブラウザを介して、PC 上からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

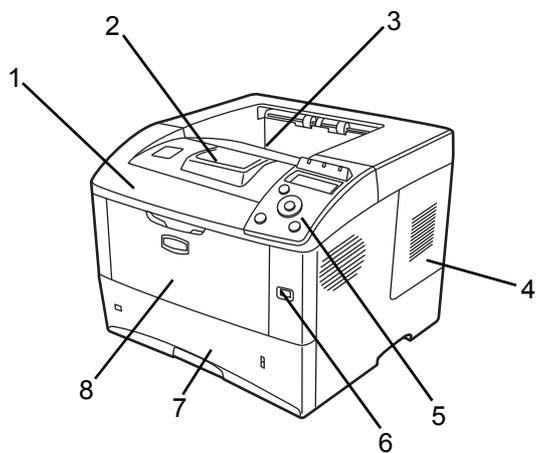
本書の読みかた

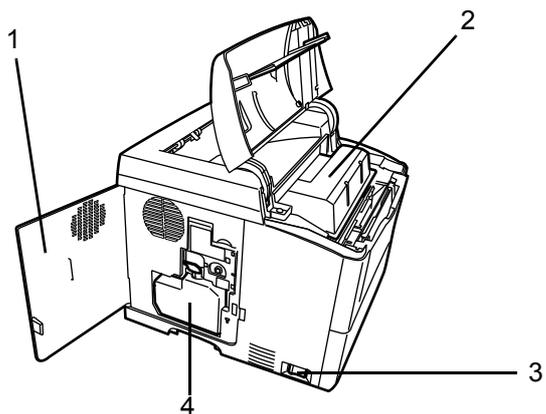
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

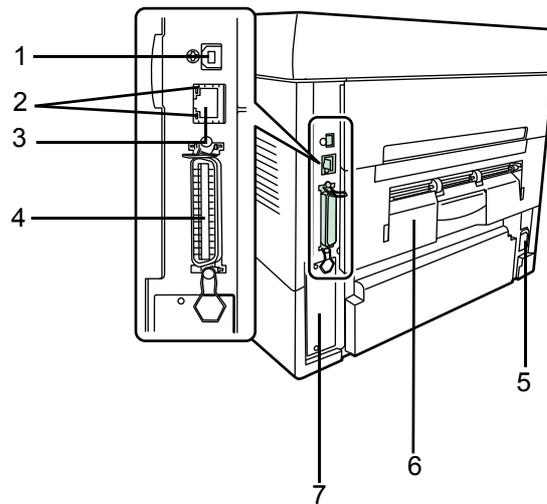
表記	説明	表記例
［太字］	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	**［メニュー］**キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「プリント デキマス」**が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。 OK をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：ドラム部分に手を触れないでください。印刷品質が低下します。
注意	けがや機械の故障を防ぐために守っていただきたい事項、およびその対処方法について書かれています。	**注意：両面ユニットの上にある板金は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。**

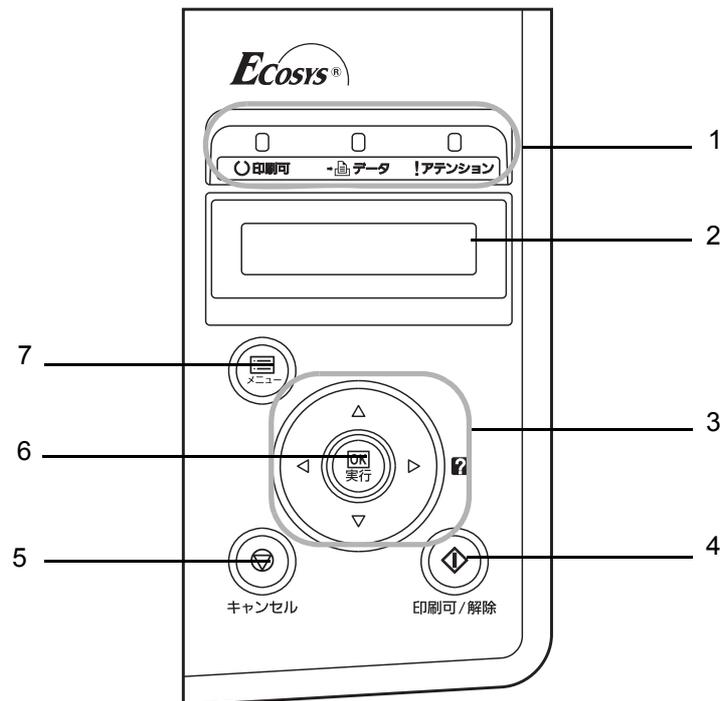
1　各部の名称

この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

プリンタ前面

1　上カバー
2　ペーパーストッパ
3　上トレイ
4　右カバー
5　操作パネル
6　USB メモリスロット
7　給紙カセット
8　手差しトレイ

プリンタ側面 / 内部

1　左カバー
2　トナーコンテナ
3　電源スイッチ
4　廃棄トナーボックス

プリンタ背面

1 USB インタフェース
2 ネットワークインジケータ（LS-4020DN のみ）
3 ネットワークインタフェース（LS-4020DN のみ）
4 パラレルインタフェース
5 電源コネクタ
6 後ユニット
7 拡張インタフェーススロット（ネットワーク /CF カード / ハードディスク）

操作パネル

1　インジケータ
2　メッセージディスプレイ
3　矢印キー
4　［印刷可 / 解除］キー
5　［キャンセル］キー
6　［実行］キー
7　［メニュー］キー

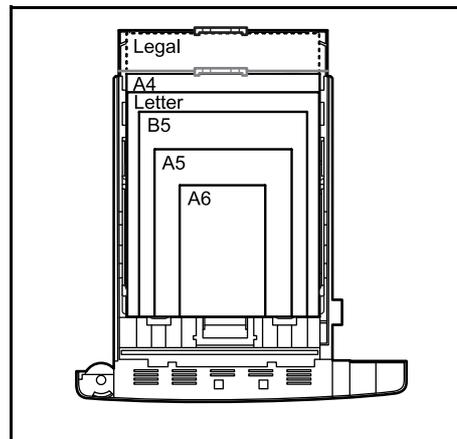
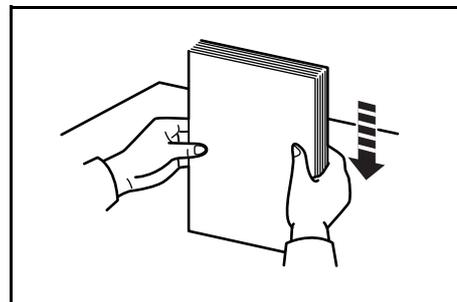
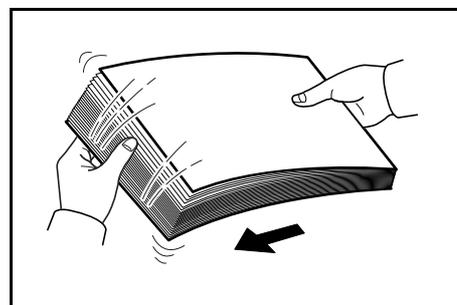
2　用紙の補給

この章では次の内容について説明します。

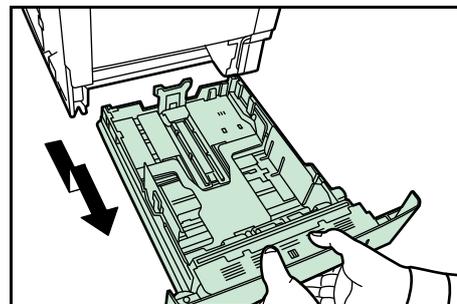
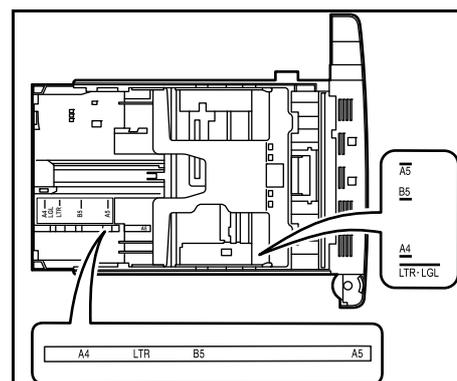
重要：本機にインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

用紙の補給

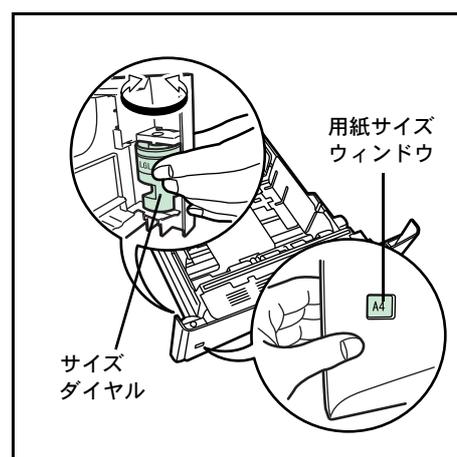
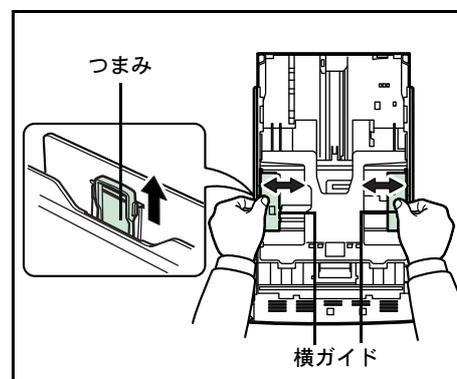
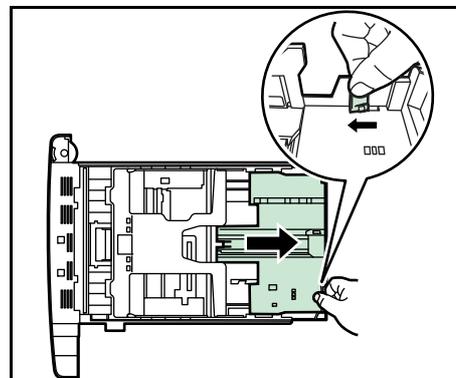
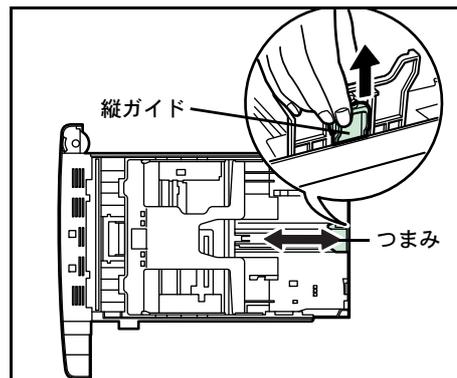
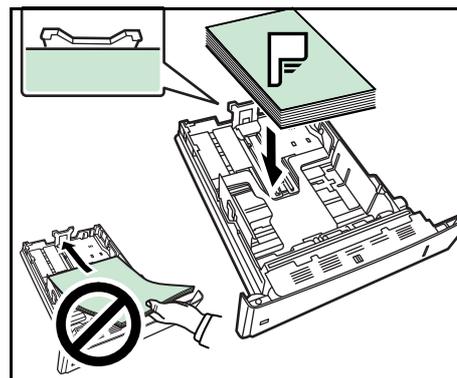
カセットや手差しトレイに用紙を補給する手順について説明します。

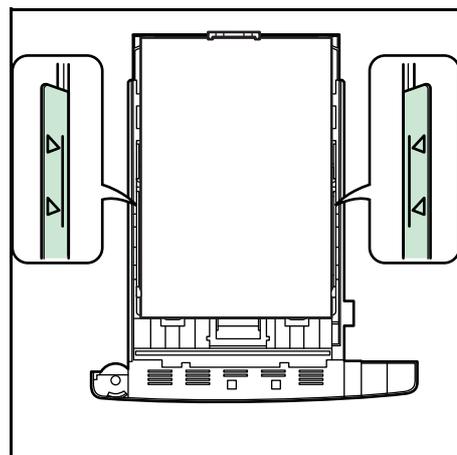
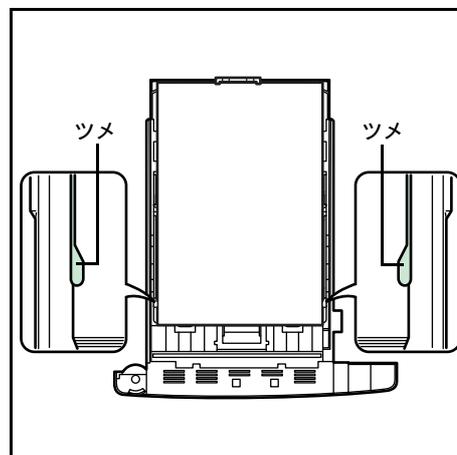
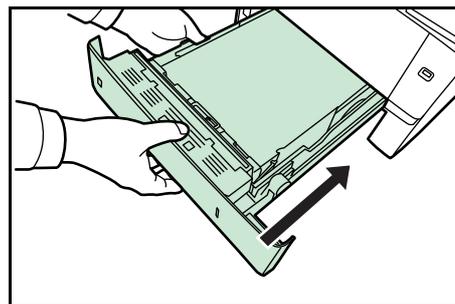
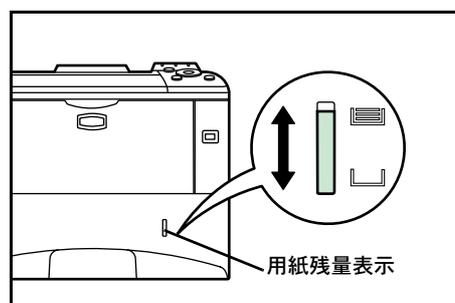
給紙カセットは、A6（LS-2020D:A5）～A4/Letter、Legal サイズの用紙を 500 枚までセットできます。

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

給紙カセットの用紙の補給

次の手順で、給紙カセットに用紙を補給します。

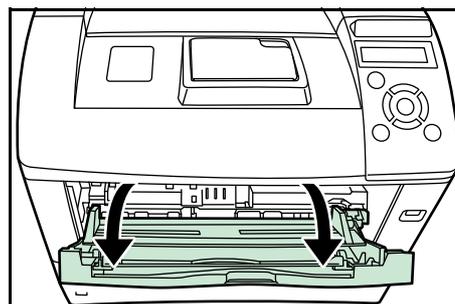
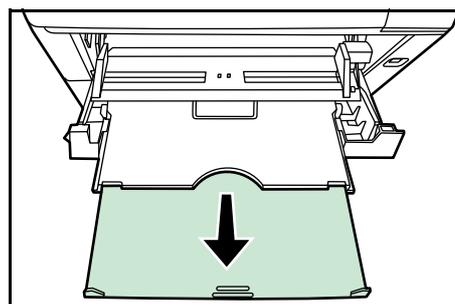
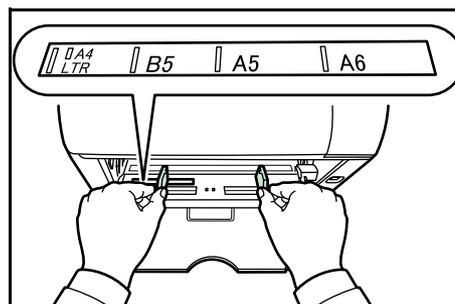
1 給紙カセットを、図のように引き出します。

用紙サイズは図のように、給紙カセットに刻印されています。

2 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが見えるように合わせます。

参考：不定形の用紙を使用する場合は、サイズダイヤルを OTHER にセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。

---

3 左右の横ガイドの位置を調整します。左側の横ガイドにあるつまみを引き上げながら、両手で左右の横ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

4 A4 より長いサイズの用紙に印刷する場合は、ロックレバーを押しながら、拡張給紙カセットを矢印方向にスライドさせます。そして、用紙サイズに合うようにカセットのサイズを調整します。

5 給紙カセット後部の縦ガイドの位置を調整します。つまみを引き上げながら縦ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

6 用紙の端をそろえ、印刷する面を下にして、図のように給紙カセットに入れます。

参考：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

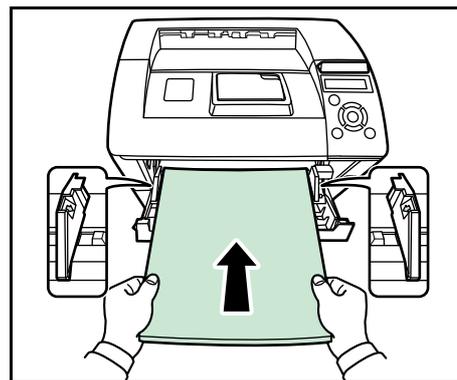
厚さ 0.11 mm/ 枚の用紙で約 500 枚までです。

7 用紙の両端を給紙カセットのツメの下に入れてください。

8 給紙カセットを奥まで押し込みます。

給紙カセット前面の右側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。

手差しトレイの用紙の補給

次の手順で、手差しトレイに用紙を補給します。

1 手差しトレイを手前に、止まるまで開きます。

2 サブトレイを引き出します。

3 用紙ガイドの位置を調整します。用紙サイズは手差しトレイに刻印されているので、用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

4 用紙の先端をそろえて、手差しトレイに入れます。

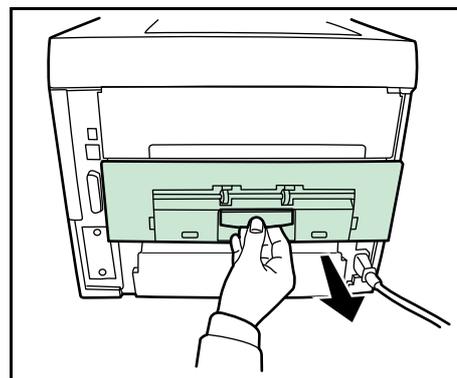
重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

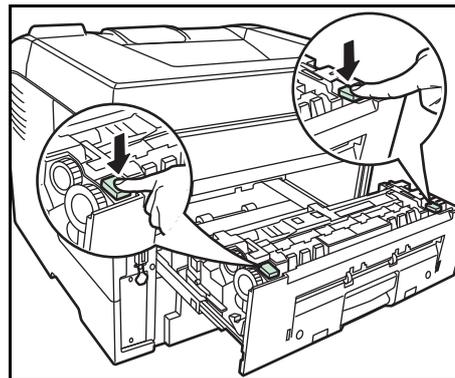
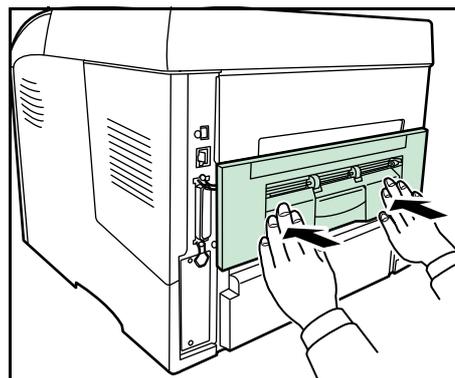
すでに印刷されている用紙の裏面を使用するときなど、用紙がカールしている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

---

5 操作パネルで、手差しトレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。

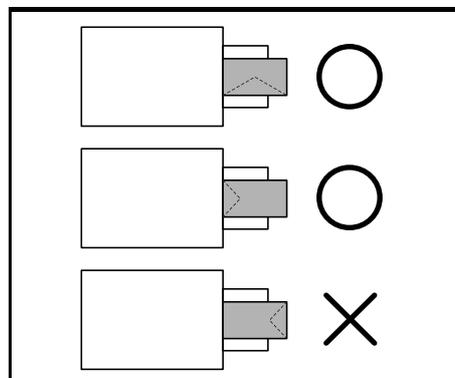
手差しトレイの封筒の補給

次の手順で、手差しトレイに封筒を補給します。

1 後ユニットを開けます。

2 2 つの封筒スイッチ（緑色）を押して、紙の厚さを変更します。

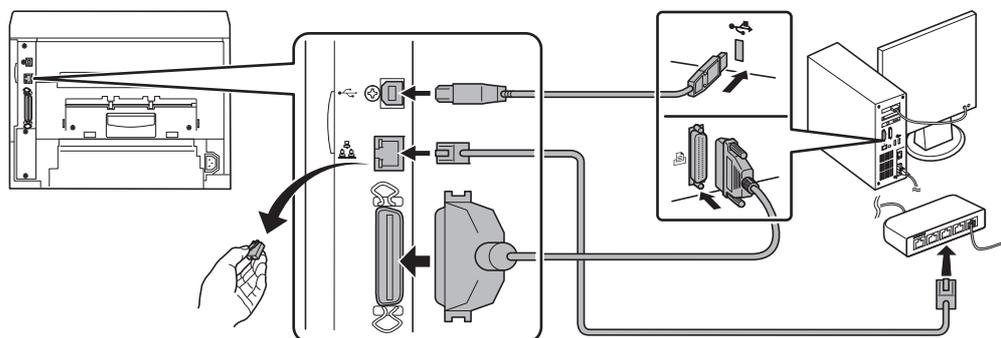
注意：本体内部は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

3 後ユニットを閉めます。

4 2-5 ページの**手差しトレイの用紙の補給**と同じ手順で封筒をセットします。

封筒は、開封部を閉じたまま、印刷する面を上にしてください。開封部が手前側または左側になるように、用紙ガイドに沿わせて止まる位置まで挿入してください。

重要：開封口に、のりなどの接着剤が付いている封筒は、接着剤が露出した状態で印刷を行わないでください。プリンタの故障の原因になります。

3　使用前の準備

この章では、本機をネットワークで使用する前に必要な設定と、プリンタドライバのインストールについて説明します。

接続について

ここでは、本機と PC との接続、および電源ケーブルの接続方法について説明します。

USB インタフェース

USB ケーブルを本機と PC に接続する手順は次のとおりです。

1 USB ケーブル（別売）を、本機背面にある **USB インタフェース**に接続します。

参考：USB ケーブルは、長方形型のタイプ A のプラグ（PC 側）と、正方形型のタイプ B（プリンタ側）のプラグを備えたケーブルを使用してください。また、5m 以下のシールドされているケーブルを使用してください。

2 USB ケーブルの一方を、PC の **USB インタフェース**に接続します。

ネットワークインタフェース

ネットワークケーブルを本機と PC に接続する手順は次のとおりです。

1 ネットワークケーブル（別売）を PC およびネットワークに接続されているハブに接続します。

参考：ネットワークケーブルは、10BASE-T または、100BASE-TX のシールドケーブルを使用してください。

2 ネットワークコネクタに付いているキャップを外し、ネットワークケーブルの一方を、本機背面にある**ネットワークインタフェース**に接続します。

パラレルインタフェース

パラレルケーブルを本機と PC に接続する手順は次のとおりです。

1 パラレルケーブル（別売）を、本機背面にある**パラレルインタフェース**に接続します。

参考：パラレル ケーブルは、IEEE1284 規格に準拠した 3m 以下のケーブルを使用してください。

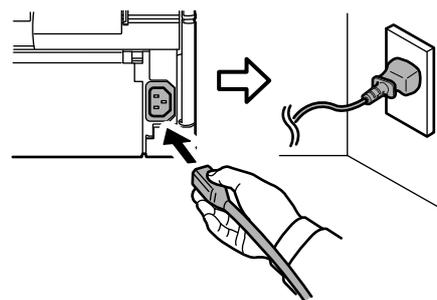
2 パラレルケーブルの一方を、PC の**パラレルインタフェース**に接続します。

電源コードの接続

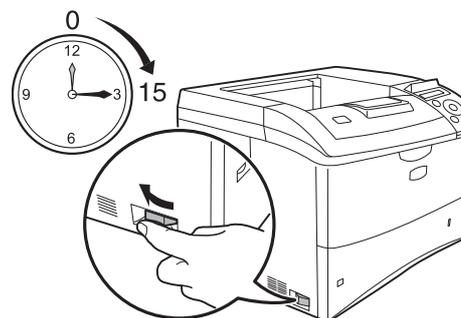
電源はプリンタが無理なく接続ができる、近くのコンセントにつないでください。延長コードを使用しなければならない場合には、合計の長さは 5m 以下にしてください。

重要：プリンタの電源スイッチがオフ（○）であることを確認してください。また、電源コードは本機に付属しているものを使用してください。

1 本機背面の**電源コードコネクタ**に、電源コードを接続します。

警告：電源コードのアース線は、確実にアースしてください。

2 電源コードの一方をコンセントに接続します。

3 **電源スイッチ**を押して（｜）、プリンタの電源を入れます。

重要：プリンタにトナーコンテナを装着して初めて装着して電源を入れた場合、印刷できる状態になるまで約 15 分間（トナー補給中）かかります。

ネットワークの設定

LS-4020DN は TCP/IP、TCP/IP（IPv6）および NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルとセキュリティレベルに対応しております。（詳しくは、**使用説明書 応用編**を参照してください。）

参考：ネットワークの設定をした後は、プリンタの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

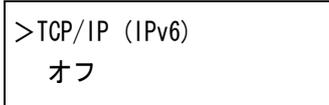
LS-2020D でネットワークを使用するには、オプションのネットワークカード（IB-31）を装着する必要があります。詳細については、ネットワークインタフェースカードの**使用説明書**を参照してください。

TCP/IP、TCP/IP（IPv6）の設定

1 ［**メニュー**］キーを押します。

2 「**ネットワーク　>**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

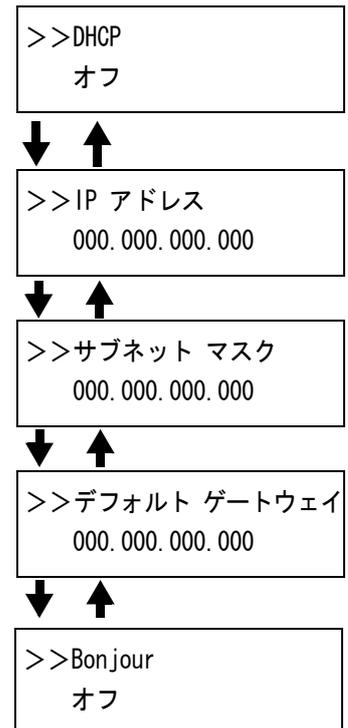
3 ［▷］キーを押します。［△］または［▽］キーを押すごとに、次のように表示が変わります。次の説明を参考にして設定を行ってください。

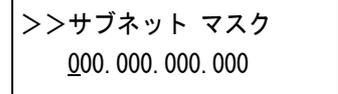
「TCP/IP 」で Windows ネットワークなどに接続する場合は「**オン**」を選択します。サブメニューでは、「DHCP」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「Bonjour」の各設定ができます。

「TCP/IP (IPv6)」で Windows ネットワークなどに接続する場合は「**オン**」を選択します。サブメニューでは、「RA(Stateless)」および「DHCPv6」の設定ができます。

TCP/IP の場合

TCP/IP プロトコルを有効にする手順を説明します。

1 「**TCP/IP**」が「**オフ**」の場合は、［△］または［▽］キーで「**オン**」を選択して、［**実行**］キーを押します。

2 ［▷］キーを押します。［△］または［▽］キーを押すごとに次のように表示が変わります。

3 設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押します。
「DHCP」や「Bonjour」を設定中は、「？」が点滅します。
「IP アドレス」や「サブネット マスク」、「デフォルト ゲートウェイ」の設定中は、カーソル（_）が点滅します。

```
>>サブネット マスク
  000.000.000.000
```

4 「DHCP」や「Bonjour」の設定は、［△］または［▽］キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

「IP アドレス」や「サブネット マスク」、「デフォルト ゲートウェイ」の設定は、［△］または［▽］キーで、カーソルが点滅している場所の数字（000 から 255）を変更してください。［◁］または［▷］キーを使ってカーソルを左右に移動させることができます。

参考：設定するネットワークアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

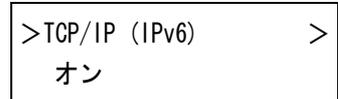
5 ［**実行**］キーを押します。

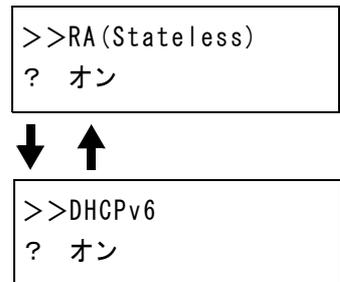
6 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

TCP/IP（IPv6）の場合

TCP/IP（IPv6）プロトコルを有効にする手順を説明します。

1 「TCP/IP（IPv6）」が「**オフ**」の場合は、［△］または［▽］キーで「**オン**」を選択して、［**実行**］キーを押します。

```
>TCP/IP (IPv6)        >
 オン
```

2 ［▷］キーを押します。［△］または［▽］キーを押すごとに次のように表示が変わります。

3 設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押します。「RA(Stateless)」および「DHCPv6」を設定中は、「**?**」が点滅します。

4 「RA(Stateless)」および「DHCPv6」の設定は、［△］または［▽］キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

参考：設定するネットワークアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

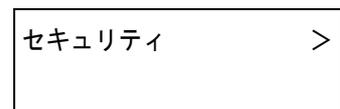
---

5 ［**実行**］キーを押します。

6 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec およびセキュリティレベルの設定

1 ［**メニュー**］キーを押します。

2 「**セキュリティ　>**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

3 ［▷］キーを押します。［△］または［▽］キーを押すごとに、次のように表示が変わります。次の説明を参考にして設定を行ってください。

ＩＤ
—

「NetWare」、「AppleTalk」、「IPP」、「SSL サーバ」、「IPSec」でネットワークに接続する場合は、管理者 ID の入力が必要です。工場出荷時は、モデル名（数字）となっています。例えば、LS-4020DN の場合、「4020」となります。詳しくは、**使用説明書 応用編「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

パスワード
—

「NetWare」、「AppleTalk」、「IPP」、「SSL サーバ」、「IPSec」でネットワークに接続する場合は、管理者パスワードの入力が必要です。工場出荷時は、モデル名（数字）となっています。例えば、LS-4020DN の場合、「4020」となります。詳しくは、**使用説明書 応用編「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

＞NetWare
オフ

「NetWare」ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択します。サブメニューで、フレームタイプを**「ジドウ」**、「802.3」、「Ethernet-II」、「SNAP」と「802.2」から選択できます。

＞AppleTalk
オン

「AppleTalk」ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択します。

＞IPP
オフ

IPP を有効にする場合は**「オン」**を選択します。

＞SSLサーバ
オフ

SSL サーバを有効にする場合は**「オン」**を選択します。サブメニューでは、「DES」、「3DES」、「AES」、「IPP over SSL」と「HTTPS」の設定ができます。

＞IPSec
オフ

IPSec を有効にする場合は**「オン」**を選択します。

＞セキュリティ　レベル
タカイ

セキュリティレベル**「タカイ」**を選択します。

NetWare の場合

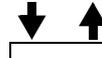
NetWare を有効にする手順を説明します。

1 管理者 ID とパスワードを入力後、「> NetWare」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。
「NetWare」が「**オフ**」の場合は、[**実行**] キーを押します。そして、[△] または [▽] キーで「**オン**」を選択して、[**実行**] キーを押します。

```
>NetWare          >
 オン
```

2 [▷] キーを押します。

```
>>フレームタイプ
  ジドウ
```

3 [**実行**] キーを押します。「**?**」が点滅します。[△] または [▽] キーを押すごとに次のように表示が変わります。

4 設定する項目を表示させ [**実行**] キーを押します。

5 [**メニュー**] キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

Apple Talk の場合

Apple Talk を有効にする手順を説明します。

1 管理者 ID とパスワードを入力後、「> Apple Talk」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押します。

```
>Apple Talk
 オフ
```

2 「Apple Talk」が「**オフ**」の場合は、［**実行**］キーを押します。「**？**」が点滅します。

```
>Apple Talk
 ?オフ
```

3 ［△］または［▽］キーで「**オン**」を選択して、［**実行**］キーを押します。

4 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

IPP の場合

IPP を有効にする手順を説明します

1 管理者 ID とパスワードを入力後、［**実行**］キーを押します。「**> IPP**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

```
>IPP
 オフ
```

2 「IPP」が「**オフ**」の場合は、［**実行**］キーを押します。「**？**」が点滅します。

```
>IPP
 ?オフ
```

3 ［△］または［▽］キーで「**オン**」を選択して、［**実行**］キーを押します。

4 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

SSL サーバの場合

SSL サーバを有効にする手順を説明します。

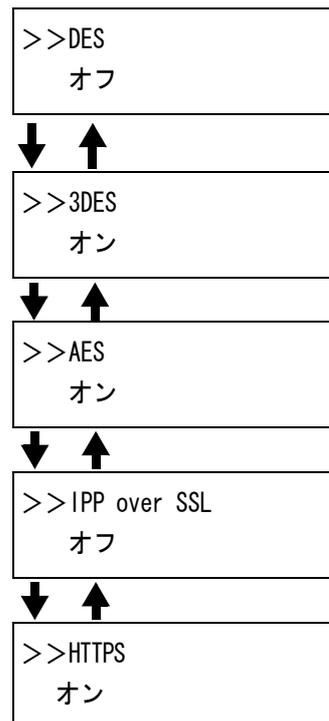
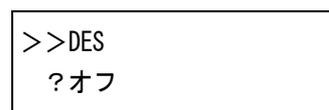
1 管理者 ID とパスワードを入力後、［**実行**］キーを押します。「**> SSL サーバ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

```
>SSL サーバ
 オフ
```

2 「SSL サーバ」が「**オフ**」の場合は、［**実行**］キーを押します。「**？**」が点滅します。

```
>SSL サーバ
 ?オフ
```

3 ［△］または［▽］キーで「**オン**」を選択して、［**実行**］キーを押します。

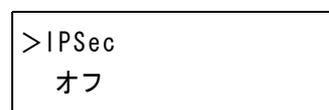
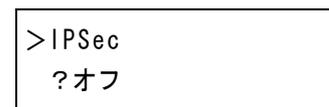
4 ［▷］キーを押します。［△］または［▽］キーを押すごとに次のように表示が変わります。

5 設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押します。「**？**」が点滅します。

6 ［△］または［▽］キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

7 ［**実行**］キーを押します。

8 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

IPSec の場合

IPSec を有効にする手順を説明します。

1 管理者 ID とパスワードを入力後、「**> IPSec**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

2 「**IPSec**」が「**オフ**」の場合は、［**実行**］キーを押します。「**？**」が点滅します。

3 ［△］または［▽］キーで「**オン**」を選択し、［**実行**］キーを押します。

4 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

セキュリティレベルの場合

「セキュリティ レベル」（セキュリティ レベルの設定）は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

```
>セキュリティ　レベル
  タカイ
```

ネットワークステータスページの印刷

ネットワークの設定後、ネットワークステータスページを印刷してください。ネットワークステータスページでは、ネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報を確認できます。

「チョウセイ / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定）

調整 / メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

調整 / メンテナンスの選択・設定には以下の項目があります。

- 「プリンタ ノ サイキドウ」（プリンタの再起動）
- 「サービス」（保守・点検用）

重要：「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

---

1 ［**メニュー**］キーを押します。

2 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

チョウセイ/メンテナンス＞

3 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**が表示中に［▷］キーを押します。

4 **「＞サービス＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

5 **「＞サービス＞」**表示中に［▷］キーを押します。

6 **「＞＞ネットワーク ステータス ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押します。

7 ［**実行**］キーを押します。**「？」**が表示されます。

＞＞ネットワーク ステータス ノ
インサツ？

8 ［**実行**］キーを押します。**「データ　ショリチュウデス」**が表示され、ステータスページが印刷されます。

9 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

プリンタドライバのインストール

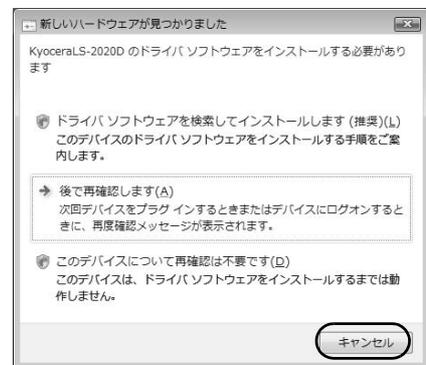
インストールガイドに従って本機に PC と電源を接続し、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。プリンタドライバの詳細は、CD-ROM 収録の **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

Windows PC へのインストール

本機を Windows PC に接続して使用する場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールします。ここでは、Windows Vista にインストールをする例で説明します。

参考：Windows Vista、 Windows XP および Windows 2000 にインストールする場合、管理者権限でログオンする必要があります。

1 プリンタと PC の電源が入り、接続されていることを確認します。

参考：USB インタフェース接続の場合、プラグアンドプレイによって、右のような画面が表示されます（Windows XP の場合は、**新しいハードウェアの検索ウィザード**）。必ず**キャンセル**をクリックしてください。

2 付属の CD-ROM（Product Library）を、PC の光学ドライブにセットします。**自動再生**画面が表示された場合（Windows Vista のみ）は、**Setup.exe の実行**をクリックします。

しばらくすると、CD-ROM の使用許諾画面が表示されます。

参考：CD-ROM を入れても Product Library が自動で起動しない場合は、Windows のエクスプローラから CD-ROM のルートディレクトリを開き、Setup.exe をダブルクリックしてください。

3 **使用許諾を表示**をクリックして内容を確認したあと、**同意する**をクリックします。メインメニューが表示されます。

4 **ソフトウェアのインストール**をクリックします。**インストール方法の選択**画面が表示されます。

参考：Windows XP の場合、**ソフトウェアのインストール**をクリックすると、**ソフトウェアインストール**ウィザードが起動します。**次へ**をクリックすると、**インストール方法の選択**画面が表示されます。

---

5 インストール方法を選択します。インストール方法には、**高速モード**と**カスタムモード**の 2 種類があります。以降、該当する手順に進んでください。

- **高速モード**：プリンタが USB またはネットワークで接続され電源が入っていると、インストーラがプリンタを検出します。標準的なインストールを行う場合は、高速モードを選択してください。
- **カスタムモード**：必要に応じてインストールする内容を選択したり、ポートを指定したりできます。

高速モード

高速モードを選択すると、プリンタドライバとフォントがインストールされます。**高速モード**でインストールした後に、**カスタムモード**で他のユーティリティを追加できます。

1 **インストール方法の選択**画面で、**高速モード**をクリックします。**プリントシステムを検索**画面が表示され、インストーラがプリンタの検出を行います。プリンタが検出されない場合、プリンタが USB またはネットワークで接続され、電源が入っていることを確認し、**プリントシステムを検索**画面に戻ってください。

2 インストールするプリンタを選択し、**次へ**をクリックします。

3 **設定の確認**画面が表示されます。設定を確認し、**インストール**をクリックします。

参考：インストールの途中で Windows **セキュリティ**画面が表示された場合は、**このドライバソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。Windows XP でハードウェアのインストール画面が表示された場合は、**続行**をクリックしてください。

---

4 **インストールが完了しました**画面が表示されます。**終了**をクリックして、CD-ROM のメインメニューに戻ります。

カスタムモード

カスタムモードは、プリンタポートやインストールするソフトウェアを任意に選択する場合に使用します。

たとえば、PC にインストールされているフォントを上書きしないとき、**カスタムモード**を選択し、**インストール画面**の**フォント**のチェックを外します。

1 **インストール方法の選択**画面で、**カスタムモード**をクリックします。インストーラは、**プリントシステムを検索**画面で、接続されたプリンタを検索します。

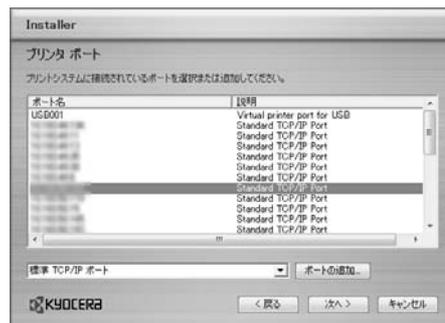
2 インストールするプリンタを選択し、**次へ**をクリックします。手順 5 に進んでください。

プリンタが見つからなかった場合、エラーメッセージが表示されます。**ユーザ選択**を選択し、**次へ**をクリックします。手順 3 に進んでください。

3 **プリントシステム**画面で、インストールするプリンタのモデル名を選択し、**次へ**をクリックします。

4 **プリンタポート**画面で、使用するプリンタポートを選択し、**次へ**をクリックします。

参考：プリンタポートがリストにない場合は、**ポートの追加**をクリックします。**標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード**が表示されます。手順に従って、ポートを追加または編集してください。

---

5 **カスタムインストール**画面の Driver タブと Utility タブで、インストールするプリンタドライバとユーティリティを選択し、**次へ**をクリックします。

6 **インストール設定**画面で、必要に応じてプリンタの設定を変更し、**次へ**をクリックします。

7 **設定の確認**画面で設定を確認し、**インストール**をクリックします。インストールを開始します。

参考：インストールの途中で Windows **セキュリティ**画面が表示された場合は、**このドライバソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。Windows XP で**ハードウェアのインストール**画面が表示された場合は、**続行**をクリックしてください。

---

8 **インストールが完了しました**画面が表示されます。**終了**をクリックして、CD-ROM のメインメニューに戻ります。

Macintosh へのインストール

1 本機と Macintosh の電源を入れます。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X 10.2 and 10.3 only または OS X 10.4 or higher をダブルクリックします。

5 Kyocera OS X Japanese x.x をダブルクリックします。

6 プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。

7 インストールプログラムの表示に従って、**インストール先**、**インストールの種類**を選び、プリンタドライバをインストールします。

重要：管理者の名前とパスワード画面では、OS にログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。

参考：インストールの種類では、**標準インストール**のほかに、インストール内容を指定する**カスタムインストール**を選択できます。

これで、プリンタドライバがインストールされました。続いて、印刷設定を行います。

IP もしくは Apple Talk で接続する場合、以下の設定が必要になります。USB 接続の場合、自動的にプリンタの認識と接続が行われます。

8 **システム環境設定**画面を開き、**プリンタとファックス**をクリックします。

9 インストールしたプリンタドライバを追加するため、＋をクリックします。

10 IP 接続する場合は IP アイコン、Apple Talk 接続する場合は AppleTalk アイコンをクリックし、IP アドレスとプリンタ名を入力します。

11 インストールしたプリンタドライバを選択し、**追加**をクリックします。

12 プリンタに設置されているオプションを選択し、**続ける**をクリックします。

13 設定したプリンタが追加され、印刷設定作業は終了です。

アプリケーションからの印刷

次の手順で、アプリケーションで作成した文書を印刷できます。

1 給紙カセットに用紙を入れます。

2 アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択します。印刷ダイアログボックスが表示されます。

3 プリンタのリストから印刷するプリンタを選択します。

4 印刷したい部数を**部数**に入力します。

5 OK をクリックします。印刷が始まります。

参考：プリンタドライバのその他の機能については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

半速モードを使用した印刷（LS-4020DN のみ）

精細な画像や厚紙に印刷するときは、KX ドライバから半速モードを指定して印刷速度を調整してください。半速モードの指定方法については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

参考：KX ドライバから、出力用紙サイズとして A6 およびはがきを指定した場合は、自動的に半速モードになります。

ステータスモニタ

ステータスモニタは、プリンタの状態を監視し、逐次報告する機能を備えています。また、プリンタドライバに含まれていないプリンタの設定を確認したり変更したりできます。
プリンタドライバをインストールすると、**ステータスモニタ**も自動的にインストールされます。

ステータスモニタの起動

ステータスモニタは、次のいずれかの方法で起動します。

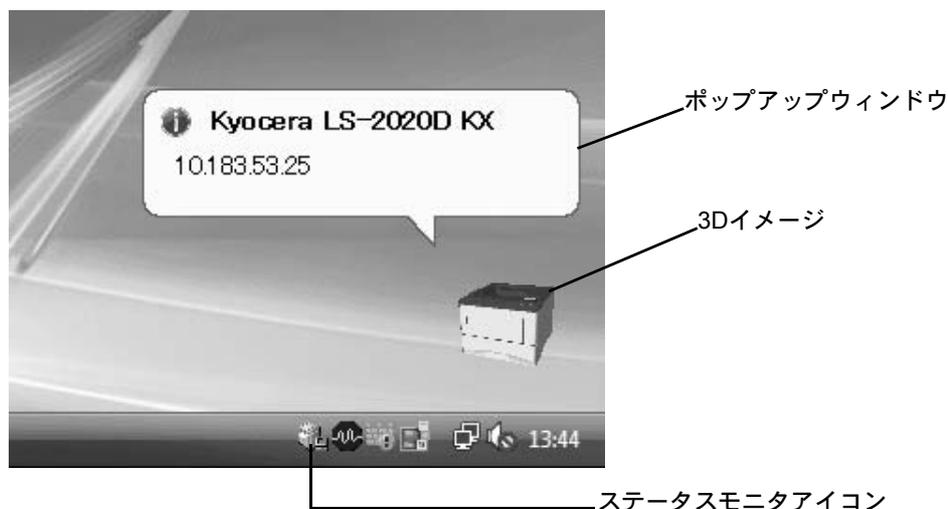
- 印刷開始時に起動：
  ステータスモニタは、プリンタを指定して印刷を開始すると、1 つのプリンタ名につき、1 つ起動します。複数台にプリンタを指定した場合、指定したプリンタの数だけ**ステータスモニタ**が起動します。
- プリンタドライバプロパティから起動：
  プリンタドライバの**プロパティ**ダイアログボックスから**印刷設定**ボタンをクリックします。**印刷設定**ダイアログボックスにある**拡張機能**タブを選択し、**ステータスモニタボタン**クリックすると、**ステータスモニタ**画面が表示されます。**ステータスモニタ**にチェックが付いていることを確認した後、**ステータスを起動**ボタンをクリックすると、**ステータスモニタ**が起動します。

ステータスモニタの終了

ステータスモニタは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了：
  タスクバーのステータスモニタアイコンからメニューを表示させ、**アプリケーションの終了**を選択すると**ステータスモニタ**が終了します。
- 自動的に終了：
  操作を行わない状態で 5 分経過すると、**ステータスモニタ**が自動的に終了します。

ステータスモニタの構成

ステータスモニタの構成は次のとおりです。

ポップアップウィンドウ

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウは、**3D イメージ**がデスクトップに表示されているときだけ表示されます。

3D イメージ

監視対象のプリンタの状態を 3D イメージで表示します。ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから、ウィンドウの表示および非表示を切り替えられます。
情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウと音声で通知します。音声による通知の設定方法については、3-23 ページの**ステータスモニタの設定**を参照してください。

ステータスモニタアイコン

ステータスモニタが起動中は、タスクバーの通知領域に表示されます。アイコンにカーソルを置くと、プリンタの名称が表示されます。

ステータスモニタの設定

ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから **ステータスモニタの設定**を選択すると、2 つのタブで構成されるウィンドウが表示されます。このタブからステータスモニタの各種設定ができます。

音声通知タブ

音声通知タブでは、次のような設定ができます

重要：音声通知タブで設定した内容を確認するには、サウンドカードやスピーカなど音声を再生する環境が必要です。

イベントの通知を有効にする

イベントリストに該当するエラーが発生した場合、音声で通知を行うかどうかを設定します。

サウンドファイル又は読み上げるテキスト

音声による通知が必要な場合、サウンドファイルが選択できます。**ファイルの参照**をクリックして、サウンドファイルを検索します。

音声合成を使用する

このチェックボックスを選択すると、テキストボックスに入力したテキストを読み上げます。Windows XP 以降で使用できる機能で、サウンドファイルは不要です。

音声通知タブの機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1 **イベントの通知を有効にする**を選択します。

2 **有効なイベント**リストから、イベントを選択します。

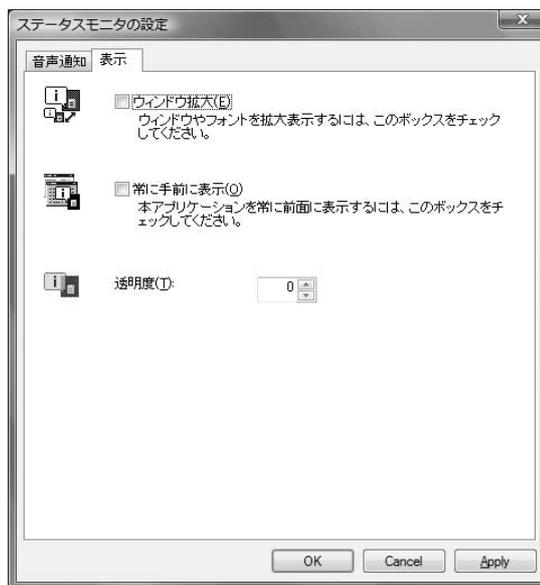
3 サウンドファイルを使ってイベントを通知する場合、**参照**をクリックしてファイルを指定します。

参考：使用できるファイルの形式は WAV ファイルです。

音声合成を使用するを選択すると、**読み上げるテキスト**ボックスに入力したテキストをイベント発生時に読み上げます。

4 ▶をクリックして、サウンドファイルまたはテキストが正しく再生されることを確認します。

表示タブ

表示タブでは、次のような設定ができます。

ウィンドウ拡大

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**のサイズやフォントを 2 倍に拡大します。

常に手前に表示

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**を常にウィンドウの前面に配置します。複数の**ステータスモニタ**でこの設定が有効になっている場合、**3D イメージ**は重ねて表示されます。

透明度

3D イメージと**ポップアップウィンドウ**を半透明なウィンドウとして表示します。0%（透過なし）から 50% まで設定できます。

ソフトウェアのアンインストール（Windows PC の場合）

本機に同梱の CD-ROM（Product Library）を使って、ソフトウェアをアンインストール（削除）できます。

注意：Macintosh の場合、PPD（PostScript Printer Description）ファイルを使用して印刷設定を行うため、CD-ROM（Product Library）を使用してアンインストールすることはできません。

---

1. すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。
2. 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。
3. プリンタドライバのインストールと同じ手順で進み、**ソフトウェアの削除**をクリックします。Kyocera Uninstaller ウィザードが表示されます。
4. 削除したいソフトウェアを選択します。
5. **アンインストール**をクリックします。

参考：Windows Vista の場合、**ドライバとパッケージを削除する**画面が表示されます。**ドライバとパッケージを削除する**を選び、OK をクリックします。

ソフトウェアの削除が開始されます。

6. アンインストールの完了を知らせるウィンドウが表示されたら、**次へ**をクリックします。
7. システムを再起動するかどうかを選択した後、**終了**をクリックします。

4　日常のメンテナンス

この章では、トナーコンテナの交換、プリンタ内部の清掃方法について説明します。

トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、メッセージディスプレイに「**トナーガ　スクナクナリマシタ**」が表示されます。このメッセージの表示後もそのまま印刷を続けることが可能ですが、一定枚数の印刷を行うと「**トナーヲ　コウカンシテクダサイ**」が表示されて、プリンタは停止します。最初のメッセージが表示されたら早めにトナーキットを準備してください。

トナーコンテナの交換時期

トナーコンテナは、LS-4020DN で約 20,000 ページ、LS-2020D で約 12,000 ページ印刷するごとに交換する必要があります（A4/ 印刷率約 5 % で、エコプリントモードがオフの場合)。

参考：プリンタに付属しているトナーコンテナでは、上記と同じ条件で LS-4020DN が約 10,000 ページ、LS-2020D が約 6,000 ページです。

トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 廃棄トナーボックス
- 廃棄用ポリ袋：　2 枚（古いトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスを入れます。）
- 説明書

重要：トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。

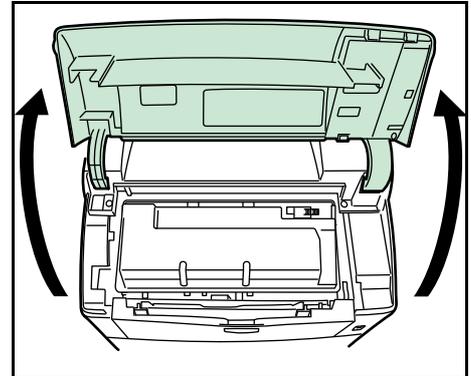
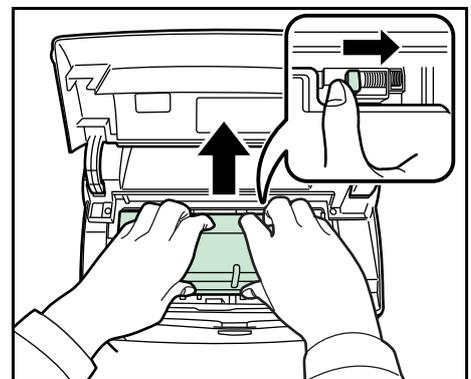
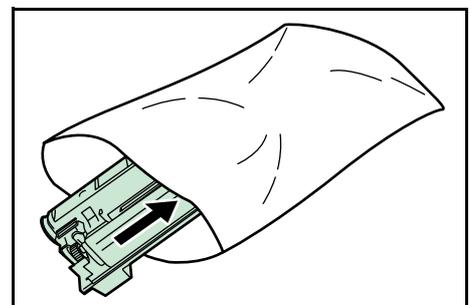
トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは 4-7 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

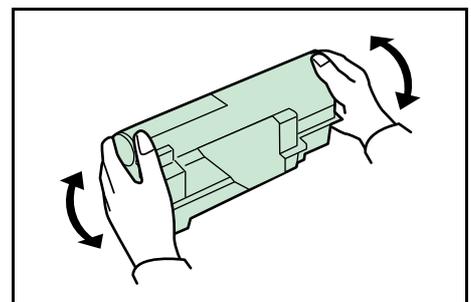
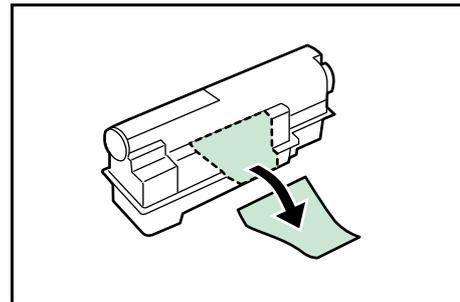
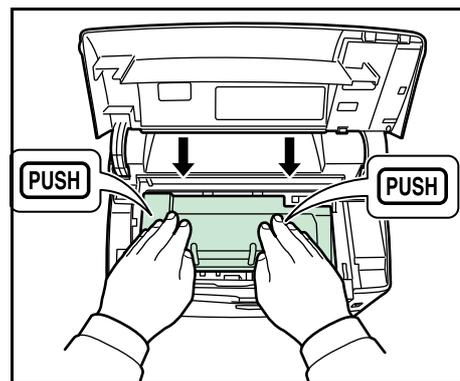
プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、プリンタの品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

参考：本製品のトナーコンテナに装着されているメモリチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

トナーコンテナの交換方法

参考：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。

1 プリンタの上カバーを開きます。

2 トナーコンテナのロックレバーを右方向へ押して、トナーコンテナをゆっくりと取り外します。

3 取り出した古いトナーコンテナは、トナーが飛散しないように付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理します。

4 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出します。

5 内部のトナーが均一になるように、注意などの刻印表示面を下側にして図のように 10 回以上振ります。その際、トナーコンテナ中央部を強く押さないでください。

6 トナーコンテナの保護シールを取り除きます。

7 トナーコンテナの刻印表示面を上側にした状態でセットします。その際、トナーコンテナ上部の［PUSH］の部分を押して、カチッと音がするまで確実に装着してください。

8 上カバーを閉じます。

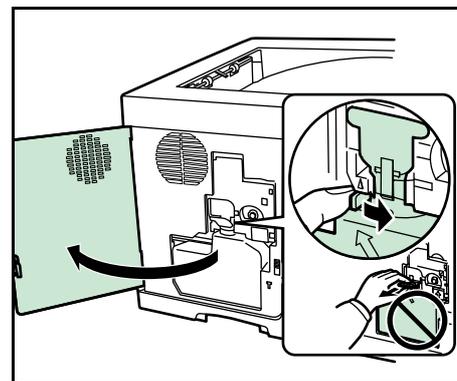
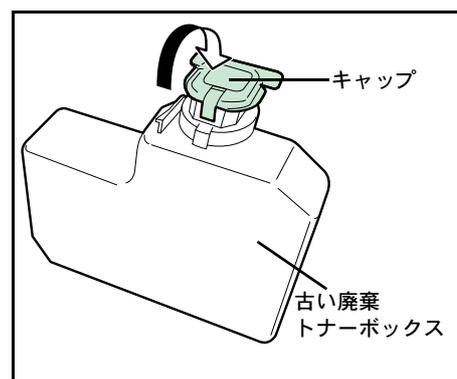
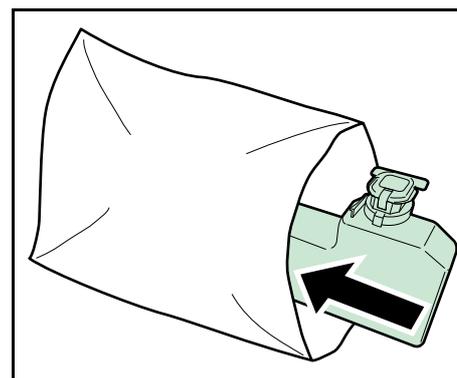
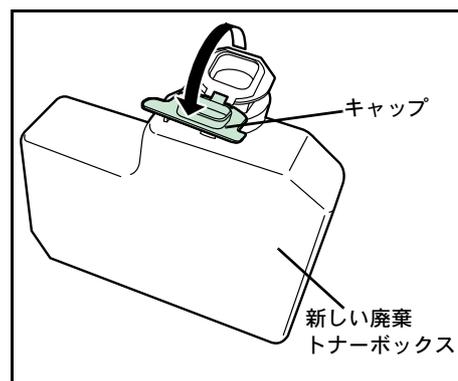
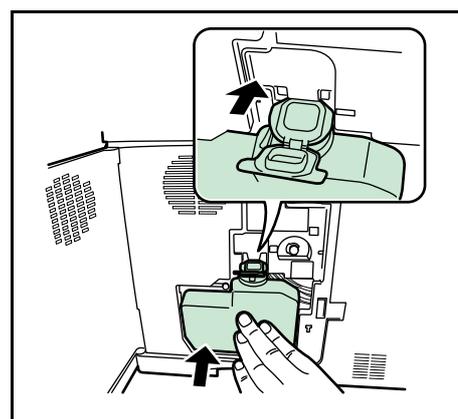
参考：京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

廃棄トナーボックスの交換

廃棄トナーボックスの交換方法

メッセージディスプレイに「**ハイキトナーボックス ヲ カクニンシテクダサイ**」と表示された場合は、次の手順で廃棄トナーボックスを交換します。交換用の廃棄トナーボックスは、新しいトナーキットに付属しています。

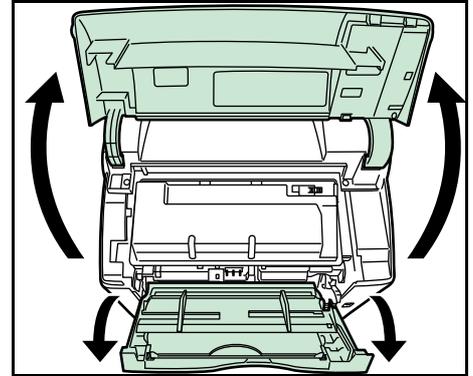
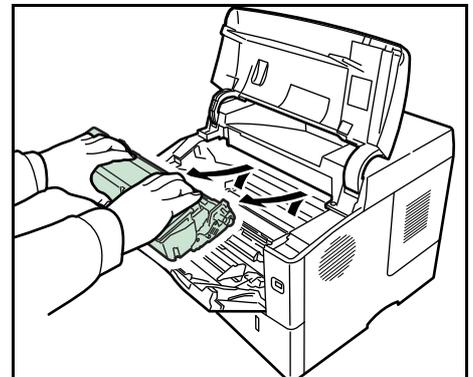
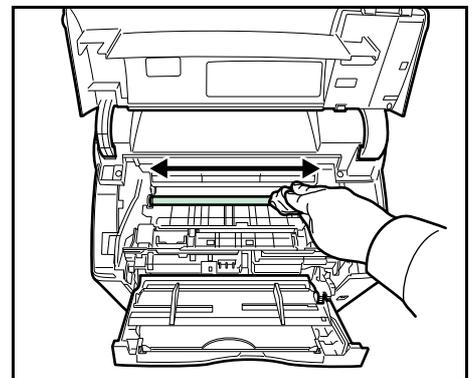
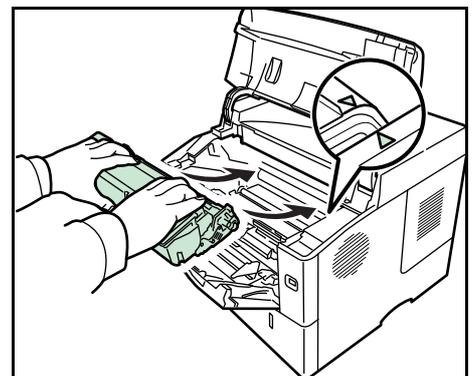
1 プリンタの左カバーを開きます。廃棄トナーボックスを押さえながらロック解除レバーを押し、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り外します。

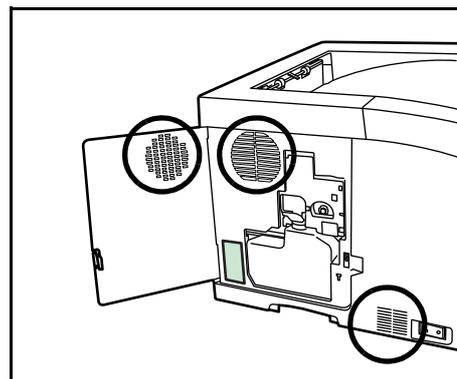
参考：廃棄トナーボックスを取り外すときは、トナーがこぼれないように注意してください。キャップが開いている状態で廃棄トナーボックスを下に向けたりしないでください。

2 図のように、取り出した古い廃棄トナーボックスのキャップを閉じます。

3 古い廃棄トナーボックスは、トナーが飛散しないよう、付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理します。

4 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けます。

5 図のように新しい廃棄トナーボックスの下側を装着部に合わせ、ロックされるまで押し込んで、プリンタに装着します。

6 廃棄トナーボックスが正しく装着されていることを確認し、左カバーを閉めます。

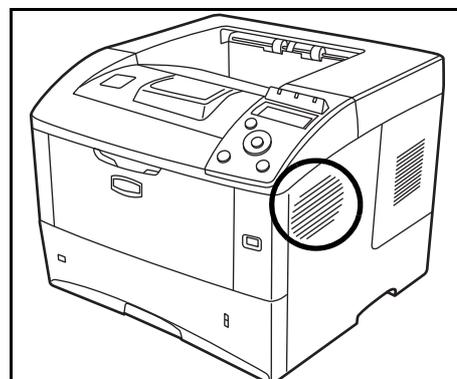
トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。4-7 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

プリンタの清掃

最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、プリンタ内部の清掃をしてください。

1 プリンタの上カバーと手差しトレイを開けます。

2 トナーコンテナと一緒に、現像ユニットをプリンタから斜め上方向へ取り出します。

3 乾いた柔らかい布で、レジストローラ（金属）部に付着している紙粉や汚れを拭き取ります。

4 現像ユニットをプリンタに戻します。

5 上カバーと手差しトレイを閉じます。

6 左カバーを開けます。乾いた柔らかい布で、通風孔に付着しているほこりや汚れを拭き取ります。

7 左カバーを閉じます。

8 乾いた柔らかい布で、本体右側の通風孔に付着しているほこりや汚れを拭き取ります。

5　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置
印刷できない	ステータスページが印刷できるか確認してください。	ステータスページが印刷できる場合は、コンピュータとの接続に問題がある可能性があります。3-2 ページの**接続について**を参照して接続を確認してください。ステータスページの印刷方法については、**使用説明書 応用編 2 章（ステータスページの印刷）**を参照してください。
印刷品質が悪い	-	5-3 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。
Windows OS テストページの文字が途中で切れる	-	Windows OS 固有の問題であり、プリンタの故障ではありません。また、印字品質にも特に影響はありません。
用紙がつまった	-	5-13 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
電源を入れても、操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか、確認してください。	電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。
	電源スイッチがオン（｜）の位置になっているか確認してください。	電源スイッチをオン（｜）の位置にしてください。
ステータスページは正常に印刷するが、コンピュータからのデータが正常に印刷されない	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。 詳細については、**インストールガイド**を参照してください。
	プログラムファイルや、アプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションソフトのプリンタ設定等を確認してください。
排紙トレイ付近から湯気が出る	プリンタを使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	プリンタを使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。 水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。

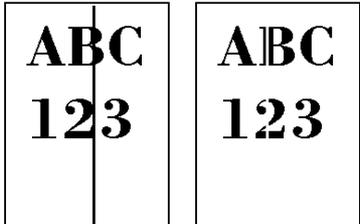
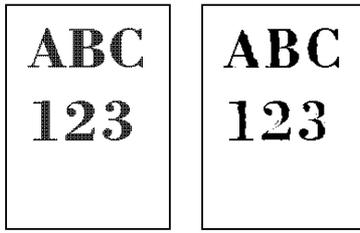
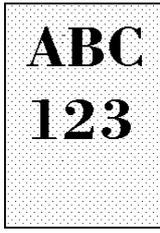
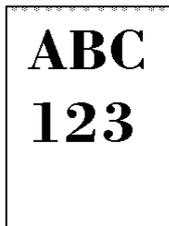
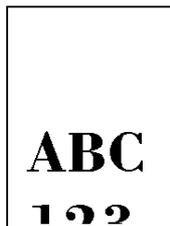
さらに、次の点を確認してください。

- プリンタに接続しているコンピュータを再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタドライバを使用してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラなどさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じた処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

印刷例	処置
何も印刷しない。	トナーコンテナを確認してください。 プリンタの上部カバーを開き、トナーコンテナがプリンタに正しく装着されているかを確認してください。詳しくは 4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
	アプリケーションソフトが正しく動いているかを確認してください。
縦線が入る。 	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ」**が表示されているときは、トナーコンテナを交換してください。詳しくは 4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください
	レジストローラを清掃してください。 プリンタの上カバーを開き、乾いた柔らかい布を使用して、レジストローラを清掃してください。詳しくは 4-7 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
画像が薄い、またはぼやける。	エコプリントの設定を確認してください。 設定が**オン**の場合、操作パネルから**オフ**に切り替えてください。
	レジストローラを清掃してください。 プリンタの上カバーを開き、乾いた柔らかい布を使用して、レジストローラを清掃してください。詳しくは 4-7 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
	用紙種類の設定が正しいか確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。
	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ」**が表示されているときは、トナーコンテナを交換してください。詳しくは 4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
背景が一様にうすい色になる。	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ」**が表示され、アテンションインジケータが点滅しているときは、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは 4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
	印刷濃度を確認してください。 操作パネルから印刷濃度のメニューを表示して、薄い濃度に設定してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（印刷濃度の設定）**を参照してください。

印刷例	処置
用紙の先端や裏側が汚れる。 	給紙カセットの給紙経路を清掃してください。 詳しくは 4-7 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
印刷位置がずれる。	アプリケーションソフトが正しく動いているかを確認してください。

エラーメッセージ

次の表では、お客様で対処可能なメンテナンスメッセージを挙げています。**「サービス ヲ オヨビ クダサイ」**または「Call service」が表示された場合はプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

メッセージとともにブザーが鳴る場合もあります。ブザーを止めるには、[**キャンセル**] キーを押してください。

メッセージ	処置
Call service F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
Call service F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
Error.Power off. F###	電源を切ってから再度入れなおしてください。このメッセージが再度表示されたら「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
Error.Power off. F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
ID エラー	セキュリティ、システム管理、または部門管理で入力した ID が違います。正しい ID を確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「セキュリティ」、「カンリシャ」（システム管理の選択・設定）、または「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
ID ガチガイマス	プライベートプリントで入力したアクセスコードが違います。プリンタドライバで指定したアクセスコードを確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ジョブボックス」（Job Box の選択）**を参照してください。
KPDL エラー　## カイジョ ヲ オシテクダサイ	KPDL（PostScript Level 3 互換のページ記述言語）のエラーです。印刷を再開するために［**印刷可 / 解除**］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。モード選択メニューから**「>KPDL エラー ノ インサツ」**を選択し、オンにするとエラーレポートが出力されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「インサツセッテイ」（印刷の設定）**を参照してください。
MemoryCard err20	プリンタの電源がオンになっているときに、プリンタのスロットから CF カードが抜き挿しされました。CF カードからの読み込みを続けたい場合は、電源を切ってから同じ CF カードをスロットに再度装着後、電源を入れ直してください。そして、データの読み取り操作を初めからやり直してください。
MK ヲ コウカンシテクダサイ	メンテナンスキットの交換が必要です。メンテナンスキットは、約 300,000 イメージの印刷ごとに交換します。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
RAMディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	RAM ディスクエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。RAM ディスクエラーは 5-11 ページの **RAM ディスクエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。

メッセージ	処置
USBメモリ エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	USB メモリにエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。USB メモリエラーは 5-11 ページの **CF カードおよび USB メモリのエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
インサツセイゲン サレテイマス カイジョ ヲ オシテクダサイ	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限方法が印刷禁止の時、印刷しようとした場合に表示されます。［印刷可 / 解除］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）を参照してください。
インサツセイゲンヲ コエマシタ カイジョ ヲ オシテクダサイ	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限枚数を超えて印刷しようとした場合に表示されます。［印刷可 / 解除］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）を参照してください。
ウエカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの上カバーが開いています。上カバーを閉じてください。
ウエ トレイ ノ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
ウシロユニット ヲ トジテクダサイ	プリンタの後ユニットが開いています。後ユニットを閉じてください。
カセット# ヲ イレテクダサイ	給紙カセットが入っていません。表示された番号の給紙カセットを正しく入れてください。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。
カセット# ヲ カクニンシテクダサイ	給紙元のカセットにリフト異常が発生しています。表示された給紙元（給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダ）のカセットを引き出し、用紙のセット状態を確認してください。 このエラーが繰り返し発生した場合、「Call Service」のエラー表示になります。
カセット#ニ ヨウシガアリマセン	給紙元の用紙がなくなりました。表示された給紙元（給紙カセット、手差しトレイ、オプションのペーパーフィーダまたはオプションのバルクフィーダ［LS-4020DN のみ］）に、要求された用紙を補給してください。 プリンタの状態を示すメッセージ（**「プリント デキマス」**、**「シバラク オマチクダサイ」**、**「データ ショリチュウデス」**）が交互に表示されます。
カセット#カラ キュウシシマス （用紙サイズ/用紙種類）†	給紙カセットに、印刷データと一致した用紙がありません。操作パネルに表示された給紙カセットに用紙をセットすると、自動的に印刷を再開します。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。 ［△］または［▽］キーを押して、代用の用紙サイズや種類を選択することもできます。選択後、**[実行]** キーを押すと、印刷を再開します。 **[メニュー]** キーを押すと、**「ヨウシ ノ セッテイ」** が表示されます。**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ヨウシ ノ セッテイ」（用紙の設定）** を参照して、給紙トレイや手差しトレイの用紙サイズや種類を設定してください。**[実行]** キーを押すと、**「ダイヨウ キュウシシマスカ？」** が表示されるので、**[実行]** キーを押します。設定した給紙元から印刷されます。
カセット ジュンビチュウ	選択している給紙カセットが準備中です。
カミヅマリデス ################	紙づまりが起こりました。紙づまりの場所は、**「#...#」** に表示されます。詳しくは 5-13 ページの **紙づまりの処置** を参照してください。

メッセージ	処置
ゲンゾウユニット ガ アリマセン	現像ユニットが未装着か、正しく装着されていません。現像ユニットをプリンタ本体に装着してください。
キュウシケイロ ガ アイテイマス	オプションのペーパーフィーダを装着し、下段のペーパーフィーダを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダまたはプリンタの給紙カセットが正しく装着されていない場合に表示されます。
サービスヲ オヨビ クダサイ ####:0123456	機械的なエラーが発生してプリンタは停止しました。**「#」**に 4 桁の数字やアルファベットが表示され、プリンタの総印刷ページ数も同時に表示されます。**「#」**の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
サイズ エラー	給紙元に設定している用紙サイズまたは指定した用紙サイズよりも、実際に印刷した用紙サイズが小さい場合に表示されます。要求された給紙元に要求されたサイズの用紙を置くか、給紙元の用紙サイズ設定を実際に印刷した用紙サイズに合わせることで、エラーが解除され給紙が再開されます。 **[印刷可 / 解除]** キーを押すと、一時的に給紙を再開することもできます。同時に［**アテンション**］インジケータが点灯、［**印刷可**］インジケータが点滅します。
シテイガイ ノ トナー PC	装着されたトナーの仕向け地が、本体の仕向け地と一致しない場合に表示されます。指定されたトナーを装着してください。
シテイガイ ノ トナーガ ソウチャク サレテイマス	装着しているトナーが指定外品の場合に表示されます。 一度「**トナー ガ スクナクナリマシタ**」や「**トナーヲ　コウカンシテクダサイ ソウジモ シテクダサイ**」が表示されたトナーコンテナを、同機種であっても他のプリンタに装着した場合は、このメッセージが表示されることがありますが、そのまま使用しても問題ありません。
シテイ ノ トナーガ ソウチャク サレテイマス	装着されたトナーが指定品の場合に表示されます。
ジョブ ヲホゾンデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	ジョブボックス機能を使った印刷時に、ハードディスクや RAM ディスクの容量が不足している、またはハードディスク未装着時に RAM ディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。
セキュリティレベル ヒクイ	セキュリティレベルを低い設定にしているとき表示されます。
ダイヨウ キュウシ シマスカ？ カセット1	印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙がないとき、この代用給紙のメッセージで代わりに使用する給紙カセットを指定できます。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。 ［△］または［▽］キーを押して代用の給紙元を選択後、**[実行]** キーを押すと、印刷が再開されます。
データ キャンセルチュウ	データのキャンセル中に表示されます。

メッセージ	処置
テザシカラ キュウシシマス （用紙サイズ/用紙種類）†	手差しトレイに、印刷データと一致した用紙がありません。手差しトレイに用紙を入れると自動的に印刷を再開します。印刷データと一致しない用紙を手差しトレイに入れた場合、紙づまりが発生するおそれがあります。 [△] または [▽] キーを押して、代用の用紙サイズや種類を選択することもできます。選択後、[実行] キーを押すと、印刷を再開します。 [メニュー] キーを押すと、「ヨウシ ノ セッテイ」が表示されます。**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ヨウシ ノ セッテイ」（用紙の設定）**を参照して、給紙トレイや手差しトレイの用紙サイズや種類を設定してください。[実行] キーを押すと、「**ダイヨウ キュウシシマスカ？**」が表示されるので、[実行] キーを押します。設定した給紙元から印刷されます。
デバイス シヨウチュウ	USB メモリ使用中に、取り外しメニューを実行した場合に表示されます。1、2 秒表示された後、直前の表示に戻ります。
トナー ガ スクナクナリマシタ	トナーが少なくなりました。新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは、4-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
トナーヲ コウカンシテクダサイ ソウジ モ シテクダサイ	新しいトナーキットを使用してトナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されているときは、プリンタは動作しません。
ハードディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	ハードディスクエラーが起こりました。「##」にそのエラーコードが表示されます。詳しくは 5-11 ページの**記憶装置のエラーコード**を参照してください。[印刷可 / 解除] キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ハードディスク ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	プリンタに装着されたハードディスクがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。ハードディスクをフォーマットしてください。詳しくはハードディスクの使用説明書を参照してください。
ハイキトナーボックス ヲ カクニンシテクダサイ	廃棄トナーボックスが装着されていないか、または廃棄トナーボックスがほぼ満杯です。廃棄トナーボックスを装着または交換してください。
パスワード エラー	入力したパスワードと設定したパスワードが違います。正しいパスワードを確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「セキュリティ」、「カンリシャ」（システム管理の選択・設定）、または「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
バルクフィーダカラ キュウシ （用紙サイズ/用紙種類）†	バルクフィーダに、印刷データと一致した用紙がありません。バルクフィーダに用紙を入れると印刷を再開します。印刷データと一致しない用紙をバルクフィーダに入れた場合、紙づまりが発生するおそれがあります。 [△] または [▽] キーを押して、代用の用紙サイズや種類を選択することもできます。選択後、[実行] キーを押すと、印刷を再開します。 [メニュー] キーを押すと、「ヨウシ ノ セッテイ」が表示されます。**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ヨウシ ノ セッテイ」（用紙の設定）**を参照して、給紙トレイや手差しトレイの用紙サイズや種類を設定してください。[実行] キーを押すと、「**ダイヨウ キュウシシマスカ？**」が表示されるので、[実行] キーを押します。設定した給紙元から印刷されます。
ヒダリカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの左カバーが開いています。左カバーを閉じてください。
フウトウ スイッチ ヲ イッチ サセテクダサイ	封筒スイッチの状態が左右ともに一致していないときに表示されます。左右のスイッチを同じ状態に切り替えてください。

メッセージ	処置
フウトウ スイッチ ヲ **キリカエテクダサイ**	封筒スイッチと用紙種類が一致していません。使用する用紙に合わせて、封筒スイッチを切り替えてください。
フウトウ モード	封筒スイッチが封筒モードになっている場合に表示されます。
フクスウインサツ デキマセン **カイジョ ヲ オシテクダサイ**	ハードディスクあるいは RAM ディスクが装着 / 設定されていないため、複数部印刷できません。ハードディスクを装着するか、拡張メモリを増設して、RAM ディスクの設定を行ってください。 または、ハードディスクあるいは RAM ディスクの空き容量が不足しているため、複数部印刷できません。不要なファイルを削除してください。
ブモンカンリセッテイエラー## **カイジョ ヲ オシテクダサイ**	部門管理機能がオンの状態で、部門管理の設定や部門の登録、削除が失敗した場合に表示されます。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ブモンシテイガ チガイマス **カイジョ ヲ オシテクダサイ**	部門管理機能がオンの状態で、送信された印刷ジョブに部門指定がなされていなかった場合や、指定された部門が登録されていなかった（誤った部門が指定されていた）場合に表示されます。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
ブモン ノ トウロク ガ **デキマセン**	部門管理メニューで、部門を登録する際に入力された部門コードがすでに存在するとき表示されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
ブモン ヲ シテイシテクダサイ	部門コードの入力が必要です。部門管理機能がオンの状態で、ジョブリテンションやステータスページなど、パネル操作による印刷を行おうとした場合に表示されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
プリンタ ヲ ソウジシテ **カイジョ ヲ オシテクダサイ**	プリンタ内部を清掃してください。詳しくは 4-7 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。 **「トナーヲ コウカンシテクダサイ ソウジ モ シテクダサイ」**が表示された後にトナーコンテナを交換した場合、このメッセージが表示されます。プリンタ内部を清掃し、［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。
プリント オーバーラン **カイジョ ヲ オシテクダサイ**	プリンタの内部メモリが不足しているため、エラーが起こりました。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。メモリを増設して、印刷をやり直してください。
メモリーオーバーフロー **カイジョ ヲ オシテクダサイ**	プリンタのメモリが不足しています。ステータスページを印刷すると、現在のメモリ量を確認できます。 メモリを増設してください。印刷を再開するには［**印刷可 / 解除**］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンの場合は、一定時間が経つと自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「デバイスゼンパン」（デバイス全般の選択・設定）**を参照してください。

メッセージ	処置
メモリカード エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	CF カードにエラーが起こりました。「**##**」にエラーコードが表示されています。詳しくは 5-11 ページの **CF カードおよび USB メモリのエラー ##** を参照してください。 ［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
メモリカード ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	CF カードがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。CF カードをフォーマットしてください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「デバイスゼンパン」（デバイス全般の選択・設定）**を参照してください。
リョウメンインサツ デキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	両面印刷できない用紙サイズまたは用紙種類が選択されているため、両面印刷ができません。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと片面で印刷を行います。 ［△］または［▽］キーで代用給紙のサイズや種類を選択することもできます。また、[**メニュー**] キーを押して給紙元の設定を変えると、自動的にエラーが解除され給紙します。同時に［**アテンション**］インジケータが点灯、［**印刷可**］インジケータが点滅します。

† / で区切られたメッセージは交互に表示されます。

記憶装置のエラーコード

ハードディスクのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	ハードディスクのフォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	ディスクシステムがインストールされていません。システムおよび機器に必要な環境を確認してください。
04	ハードディスクに必要な容量が不足しています。ハードディスク内のデータを整理し、領域を拡大してください。
05	指定したファイルがハードディスク内にありませんでした。
06	ハードディスクに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。
10	ホストデータがハードディスクにスプールされているので、フォーマットできません。**「プリント デキマス」**になってからフォーマットしてください。
97	文書データが制限値に達しており、これ以上保存できません。文書データを整理するか、制限値を上げてください。
98	読み取れないページがあります。
99	指定された ID に対する文書データが存在しません。

CF カードおよび USB メモリのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	CF カードがこのプリンタの仕様に適していません。または壊れています。適応する CF カードを挿入してください。
02	CF カードが装着されていません。CF カードの使用に必要な環境を確認してください。
03	CF カードがライトプロテクトされています。CF カードの状態を確認してください。
04	CF カードの容量が不足しています。不要なファイルを削除するなどしてください。
05	指定したファイルが CF カードまたは USB メモリ内にありませんでした。
06	CF カードに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。
50	USB メモリがライトプロテクトされているか、無効なデバイスです。USB メモリの状態を確認してください。

RAM ディスクエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	フォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	RAM ディスクモードがオフになっています。RAM ディスクモードをオンにしてください。
04	RAM ディスクの容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAM ディスクの領域を拡大してください。
05	指定したファイルがディスク上にありませんでした。
06	ディスクシステムで使用できるメモリが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。

インジケータの表示

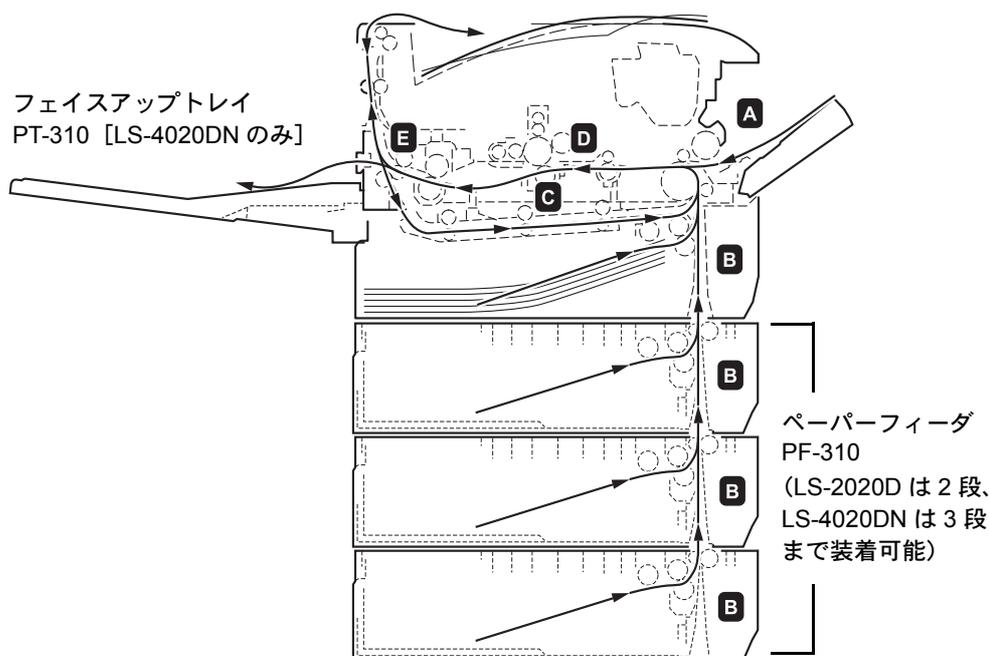
インジケータの表示とその意味を説明します。

表示	表示
印刷可	**点滅：** エラーが発生しています。5-5 ページの**エラーメッセージ**を参照してエラーの処理をしてください。 **点灯：** 印刷ができる状態です。受信した印刷データは印刷されます。 **消灯：** **「プリント デキマス」**が表示されているときに［**キャンセル**］キーが押されました。印刷データの受信は可能です。印刷できる状態にするには、再度［**キャンセル**］キーを押してください。印刷データをキャンセル中です。 紙づまり、トナー切れ、カバーが開いている、封筒スイッチの設定が誤っているなどのエラーが発生しています。5-5 ページの**エラーメッセージ**を参照してエラーの処理をしてください。 上記以外の理由の場合は、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
データ	**点滅：** プリンタは印刷データを受信しています。 **点灯：** 印刷処理中です。または、CF カード、ハードディスク、RAM ディスク、または USB メモリーにデータをアクセス中です。
アテンション	**点滅：** **「シバラク オマチクダサイ」**が表示されている場合、プリンタは準備中です。また、**「カセット ジュンビチュウ」**が表示されている場合、選択している給紙カセットが準備中です。 用紙の補給、プリンタの清掃、メンテナンスキットの交換、トナーキットの用意、ハードディスクや CF カードのフォーマットが必要です。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処理を行ってください。詳しくは、5-5 ページの**エラーメッセージ**を参照してください。 **点灯：** 紙づまり、トナー切れ、カバーが開いている、封筒スイッチの設定が誤っているなどのエラーが発生しています。5-5 ページの**エラーメッセージ**を参照してエラーの処理をしてください。エラーメッセージで「カイジョ ヲ オシテクダサイ」と表示された場合は、［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷が再開されます。 セキュリティ、システム管理、または部門管理で入力した ID やパスワードが間違っています。正しい ID およびパスワードを入力してください。

紙づまりの処置

用紙がプリンタ内でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときなどにはプリンタは停止し、紙づまりのメッセージと紙づまり発生位置を表示します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

紙づまりのメッセージが表示された場合、プリンタはオフラインになります。

メッセージと紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを参照して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりメッセージ	紙づまりの場所	内容	参照ページ
カミヅマリデス テザシトレイ カミヅマリデス バルクフィーダ	A	手差しトレイまたはオプションのバルクフィーダ（LS-4020DN のみ）で紙づまりを起こしています。	5-14 ページ 5-19 ページ
カミヅマリデス カセット1(~4)	B	プリンタ本体の給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダで紙づまりを起こしています。LS-2020D はカセット 1 ～ 3、LS-4020DN はカセット 1 ～ 4 です。	5-15 ページ
カミヅマリデス リョウメンインサツ ユニット	C	両面印刷ユニットで紙づまりを起こしています。	5-16 ページ
カミヅマリデス ホンタイ	D	プリンタ内部で紙づまりを起こしています。	5-17 ページ
カミヅマリデス ウシロユニット	E	排紙トレイ、または後ユニットで紙づまりを起こしています。	5-18 ページ

紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については**使用説明書 応用編 1 用紙について**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

重要：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないよう注意してください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

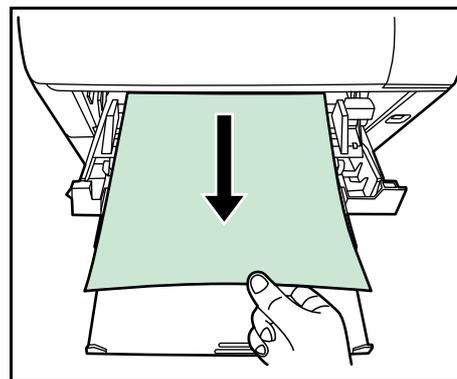
オンラインヘルプメッセージ

本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、[?] キーを押してください。オンラインヘルプメッセージは [▽] キーで次の手順のメッセージが表示され、[△] キーで前の手順に戻ります。

紙づまりの際はオンラインヘルプメッセージを利用して、用紙を取り除くことができます。

手差しトレイでの紙づまり

手差しトレイで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

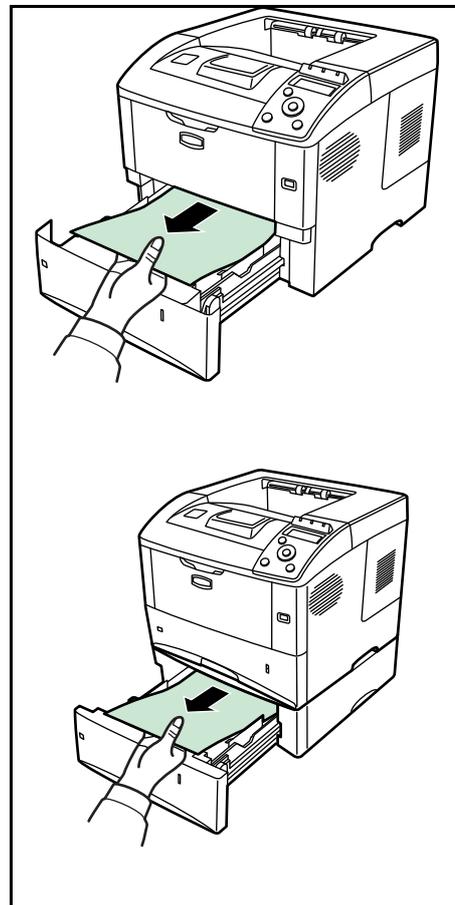
1 手差しトレイにつまった用紙を取り除きます。

2 手差しトレイに用紙をセットしなおします。
プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

重要：用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに 5-17 ページの**本体内部での紙づまり**に進んでください。

給紙カセット内での紙づまり

給紙カセットで紙づまりが起きた場合は、以下の手順でつまった用紙を取り除きます。オプションのペーパーフィーダ（PF-310）の給紙カセットで起きた紙づまりも同様に処置できます。

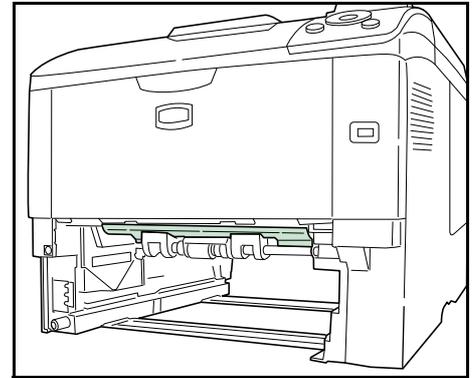
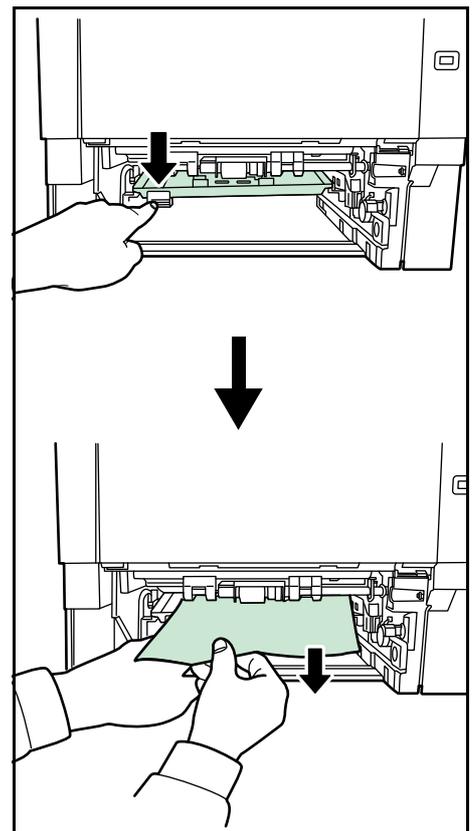
1. 給紙カセットを引き出し、つまった用紙を取り除きます。

   用紙が正しくセットされていない場合は、セットしなおしてください。

2. 給紙カセットを奥まで押し込んで戻します。

重要：つまった用紙がプリンタ内部に達している場合は、5-17 ページの**本体内部での紙づまり**に進んでください。

両面ユニットでの紙づまり

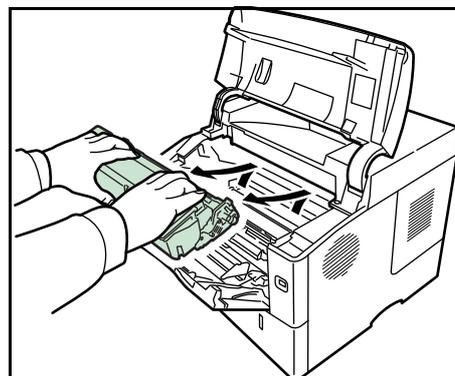
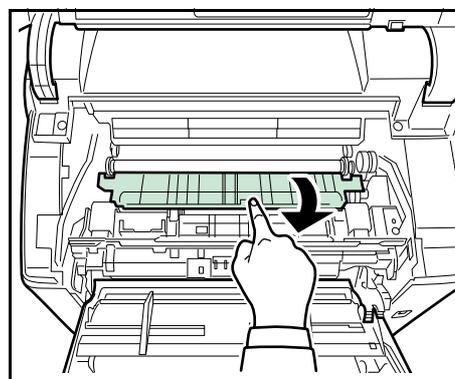
両面ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

注意：両面ユニットの上にある板金は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

1. 給紙カセットをプリンタから抜き出します。
2. 両面ユニットのカバーを開けて、つまった用紙を取り除きます。

3. 給紙カセットをプリンタに戻します。

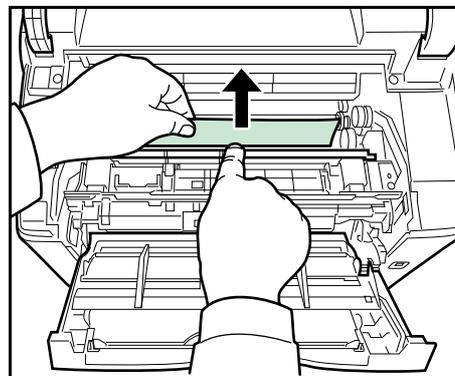
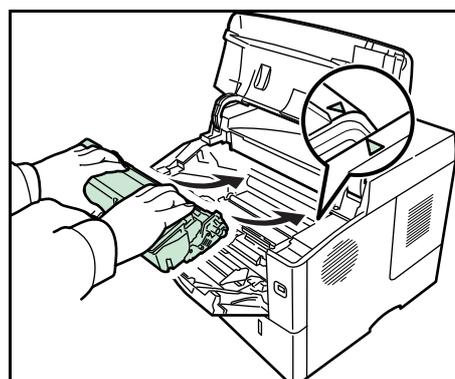
   エラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

本体内部での紙づまり

本体内部で紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

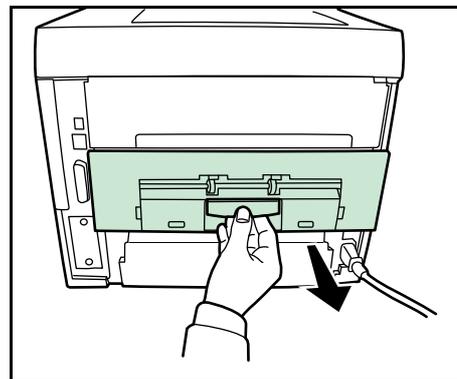
1 上カバーと手差しトレイを開け、トナーコンテナと一緒に、現像ユニットをプリンタから斜め上方向へ取り出します。

2 搬送路の保護カバーを開けます。

3 つまった用紙を取り除きます。

重要：ドラム部分に手を触れないでください。印刷品質が低下します。つまった用紙が見つからない場合は、後ユニットの奥側（本体後側内部）も確認してください。

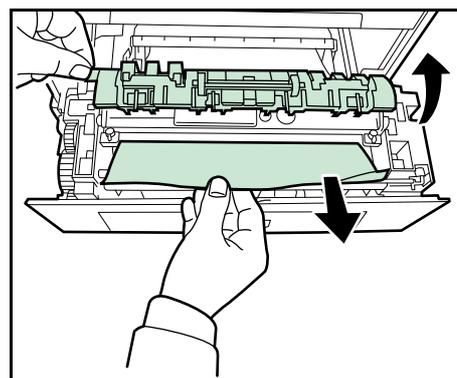
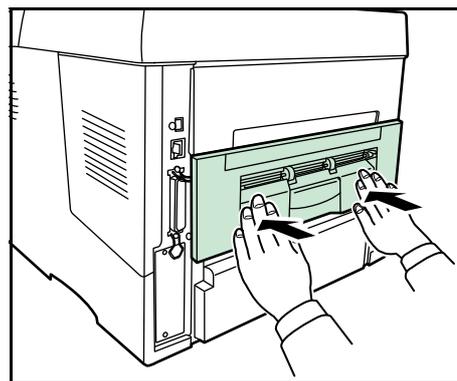
参考：つまった用紙がローラにはさまっている場合は、用紙が給紙される方向に沿ってゆっくりと引き抜いてください。

4 現像ユニットをプリンタに戻します。

5 プリンタの上カバーと手差しトレイを閉じるとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

排紙トレイと後ユニットでの紙づまり

排紙トレイと後ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

1 用紙が完全に排紙されずに途中で止まってしまったときは、後ユニットを引き出します。

2 定着カバーを開けて、つまった用紙を引き出して取り除きます。

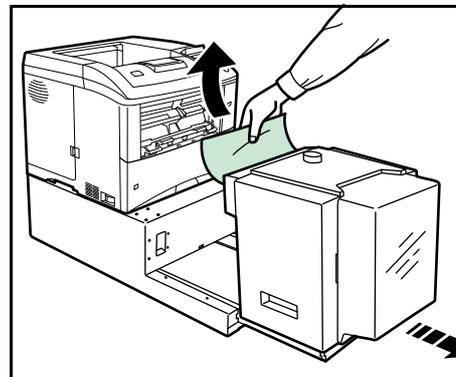
注意：本体内部は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

重要：つまった用紙が見当たらない場合は、後ユニットの奥側（本体後側内部）も確認してください。

3 後ユニットを両手でしっかりと押し込みます。

4 後ユニットを閉じるとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

バルクフィーダ（オプション）での紙づまり

オプションのバルクフィーダで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

1 バルクフィーダを両手で持ち、プリンタから取り外します。

2 バルクフィーダとプリンタの接続口から、つまった用紙を取り除きます。

3 バルクフィーダをプリンタに戻します。

4 プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

付録

ここでは、プリンタに装着できるさまざまなオプションと、本機の仕様について説明します。

仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

項目		仕様	
		LS-2020D	LS-4020DN
印刷方式		半導体レーザによる乾式電子写真方式	
印刷速度	片面印刷時	A4：35 ページ / 分 B5：30 ページ / 分 A5：21 ページ / 分	A4：45 ページ / 分 B5：36 ページ / 分 A5：23 ページ / 分
	両面印刷時	A4：17.5 ページ / 分 B5：15 ページ / 分 A5：10.5 ページ / 分	A4：32.5 ページ / 分 B5：31.5 ページ / 分 A5：23 ページ / 分
解像度		Fine 1200、Fast 1200、600 dpi、300dpi	
ファーストプリント		9 秒以下	9 秒以下
ウォームアップ時間（22 °C、60 %RH）	電源 ON から	17 秒以下	17 秒以下
	スリープから	15.5 秒以下	15 秒以下
CPU		PowerPC440（533 MHz）	PowerPC440（667 MHz）
メインメモリ		128 MB（最大 1152 MB）	
OS		Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 Apple Mac OS 10.x	
インタフェース	パラレル	1（ IEEE1284 準拠）	
	USB	1（Hi-Speed USB）	
	ネットワーク（LS-2020D はオプション）	1（TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk プロトコルサポート）	
	USB メモリスロット	1（Full-Speed USB）	
	オプション	1（ネットワークインタフェースカード [KUIO-LV(W)]）	
CF カードスロット		1	
ハードディスクスロット		1	
月間平均印刷ページ数（標準 A4 普通紙）		4,000 枚 / 月	12,000 枚 / 月
月間最大印刷ページ数（標準 A4 普通紙）		150,000 枚 / 月	250,000 枚 / 月
用紙サイズ	給紙カセット	A4、B5、A5、Legal、Letter、Folio、Oficio II、Statement、Envelope C5、ISO B5、Executive、16K、Custom（140 × 210 mm ～ 216 × 356 mm）	A4、B5、A5、A6、Legal、Letter、Folio、Oficio II、Statement、Envelope C5、ISO B5、Executive、16K、Custom（105 × 148 mm ～ 216 × 356 mm）
	手差しトレイ	A4、B5、A5、A6、B6、Legal、Letter、Folio、Oficio II、Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、ISO B5、Executive、Envelope #6-3/4、Envelope #9、はがき、往復はがき、16K、Statement、洋形 2 号、洋形 4 号、Custom（70 × 148 mm ～ 216 × 356 mm）	

項目		仕様	
		LS-2020D	LS-4020DN
用紙種類	給紙カセット	普通紙、プレ印刷用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、上質紙、カスタム	
	手差しトレイ	普通紙、OHP フィルム、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム	
用紙容量	給紙カセット	500 枚（80 g/m^2）	
	手差しトレイ	100 枚（80 g/m^2）	
排紙トレイ容量	フェィスダウントレイ	250 枚（80 g/m^2）	500 枚（80 g/m^2）
	フェイスアップトレイ PT-310（オプション）	―	250 枚（80 g/m^2）
設置環境	温度	10 ～ 32.5 °C	
	湿度	15 ～ 80 %RH	
	海抜	2,500 m 以下	
	照度	1,500 lux 以下	
電源		AC100 V、50/60 Hz、9.2 A	
消費電力	最大消費電力	952 W	1028 W
	通常使用時	583 W	675 W
	待機時	8.3 W（EcoFuser がオンの場合）	9.2 W（EcoFuser がオンの場合）
		71.8 W（EcoFuser がオフの場合）	97.7 W（EcoFuser がオフの場合）
	スリープモード時	5.6 W	6.4 W
	電源オフ時	0 W	
稼動音†	プリント時	52 dB（A）	55 dB（A）
	待機時	29 dB（A）	30 dB（A）
	スリープモード時	測定限界以下	
外形寸法	本体	幅 382 ×奥行き 394 ×高さ 285 mm	幅 382 ×奥行き 394 ×高さ 320 mm
質量	本体	約 16.2 kg	約 16.8 kg

† ISO7779 に準拠（バイスタンド位置、正面音圧レベル）

必要な環境基準

本機は、次の環境基準を満たしています。

- スリープモード移行時間（出荷時設定）：30 分
- 両面機能：標準装備
- 給紙搬送性：古紙 100 % 配合紙使用可能
- 粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No122「プリンタ　Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（本製品用のトナーを使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

製品の廃棄について

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品ごとに分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

索引

印字品質を維持するため、京セラミタ・純正トナーコンテナの使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査をパスした純正トナーをご使用ください。
純正以外のトナーを使用した場合、故障の原因となることがあります。
純正トナー以外の使用により、不具合が生じた場合、保証期間内であっても責任を負いかねます。

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。